

事務事業及び予算の執行実績
(令和3年度分「一部、令和4年度分を含む」)

静岡県立中央図書館

目 次

1	事務事業に関すること	
	事務事業の概要	1
	事業の根拠法令調	4 6
2	職員に関すること	
	職員調	4 7
	職員の年齢調	4 8
	健康管理	4 8
	職員配置調	4 9
3	予算の総括に関すること	
	預金調	5 0
	郵券等受払調	5 1
	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	5 2
4	補助金等に関すること	
	委託料に関する調	5 4
	負担金支出調	5 8
5	工事に関すること	
	建築工事調	6 0
6	財産に関すること	
	公有財産調	6 2
	借地借家等調	6 4
	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	6 5
	行政財産貸付・使用許可調	6 6
	備品・図書調	6 8
	主要備品調	7 0

事務事業の概要

1 概況

(1) 沿革

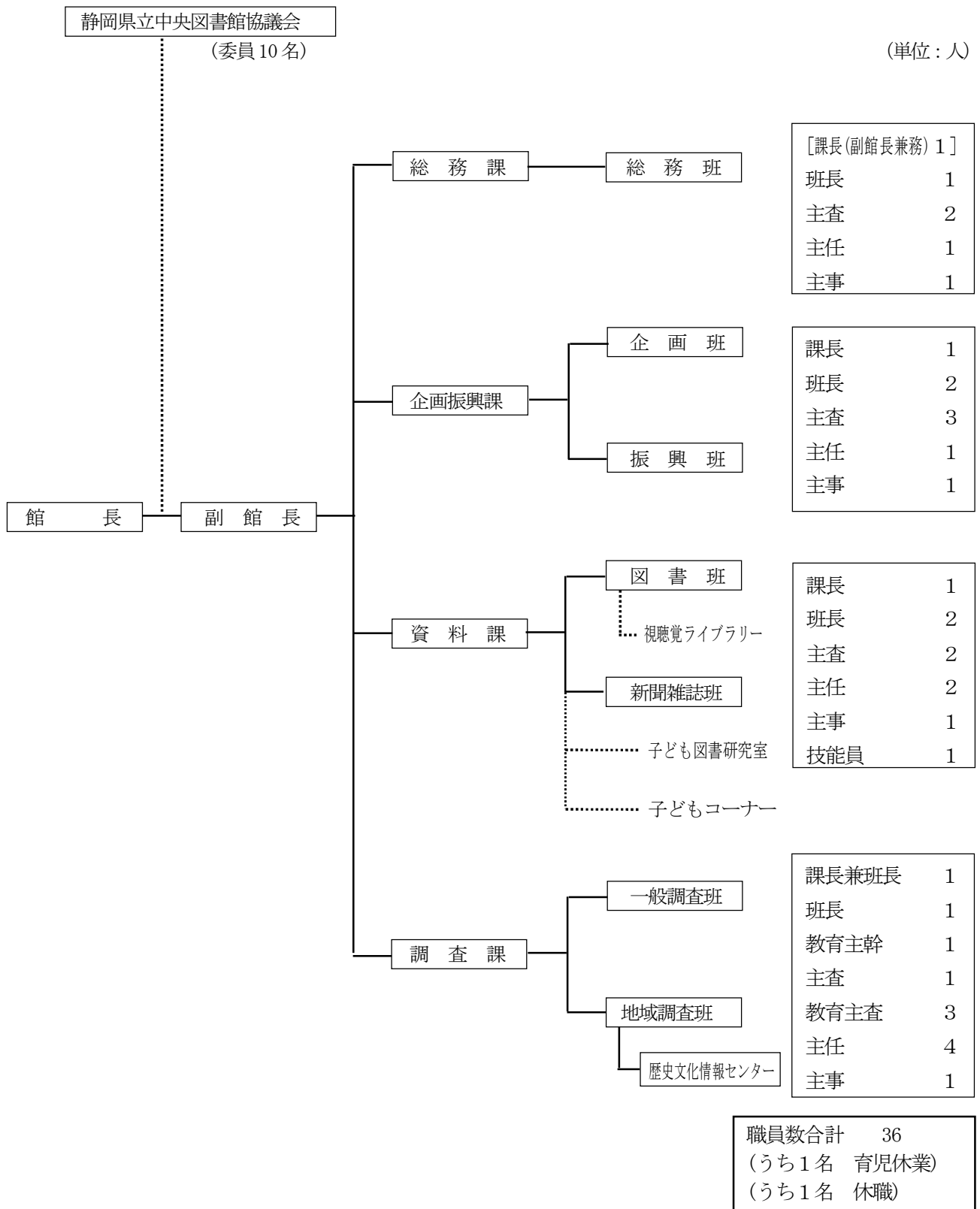
大正10年11月17日	徳川家の記念事業として渋沢栄一氏等の寄附を得て、県立図書館設立を県会に提案、議決。設立費17万円（大正13年10月竣工）
大正13年10月30日	貞松修蔵初代館長就任。開館準備事務を開始
大正14年4月1日	「静岡県立葵文庫」開館（蔵書約22,000冊、職員16人）
昭和3年11月3日	徳川頼貞氏、駿河版『群書治要』47冊を寄贈
昭和4年6月	山梨稲川百年祭記念事業として、『山梨稲川集』全4冊を刊行
昭和5年5月28日	昭和天皇陛下本県御巡幸第1日、県立葵文庫に行幸、稀観書等を天覧
昭和8年11月1日	10周年記念式典を挙行
昭和20年6月20日	戦災により、講堂及び付属木造箇所を焼失
昭和25年12月	「県視聴覚ライブラリー」を県立葵文庫内に設置
昭和28年4月1日	「日米文化センター」が県立葵文庫に併置される
昭和31年11月1日	図書館法に基づき「静岡県立中央図書館葵文庫」と名称変更
昭和36年4月	自動車文庫「あおい号」誕生、「茶の間のひととき読書」運動開始
昭和42年4月	「日米文化センター」が静岡県日米協会に移管される
昭和42年12月26日	文化センター基本計画に基づき、新図書館建築着工
昭和44年3月18日	新図書館完工
昭和44年6月30日	県立中央図書館葵文庫を閉館、新館移転作業を開始
昭和44年7月12日	「静岡県文化センター設置条例」が制定され、「静岡県立中央図書館」と名称変更
昭和44年8月1日	新館に移転を完了、開館準備事務を開始。「静岡県文化センターの組織及び運営に関する規則」を制定
昭和45年3月20日	「静岡県立中央図書館協議会条例」及び「静岡県文化センター使用料条例」を制定
昭和45年4月18日	県文化センター開所、県立中央図書館開館式。20日から一般公開
昭和50年11月10日	50周年を記念して『50年のあゆみ』を刊行
昭和60年4月1日	「静岡県視聴覚ライブラリー」設置を制定
昭和60年11月6日	県立中央図書館協議会が「今後の県立中央図書館の在り方」答申
昭和63年3月1日	「図書館利用規程」を改正し、市町村立図書館等への協力貸出を充実
平成6年3月29日	電算システムによる業務を開始し、「図書館等利用規程」を改正
平成10年4月1日	閉館時間を、毎金曜日に限って午後8時まで延長
平成11年3月13日	グランシップ情報ラウンジ・県立図書館コーナーを開設
平成11年4月1日	歴史文化情報センターが、県教育委員会文化課から移管される
平成12年4月1日	閉館時間を、毎水曜日、木曜日、金曜日について午後7時までに変更
平成14年1月1日	地震対策緊急整備工事・特別整理のため、県立中央図書館休館
平成14年2月18日	地震対策緊急整備工事着工。休館中の県民サービスとして、県女性総合センター「あざれあ」県立図書館コーナーを開設
平成14年5月31日	地震対策緊急整備工事完成
平成14年6月13日	県女性総合センター「あざれあ」県立図書館コーナーを閉館
平成14年8月1日	県立中央図書館業務を再開。葵文庫、久能文庫、特別取扱資料の一

	部を静岡県総合教育センター内「あすなろ県立図書館収蔵庫」に移動。10月12日から同センター図書室で閲覧開始
平成15年4月1日	グランシップ内で情報ラウンジ・県立図書館コーナーが移転され、グランシップ県立図書館コーナーとして再開
平成15年7月2日	ビジネスコーナーを設置
平成15年11月27日	平成15年度第89回全国図書館大会静岡大会開催（～28日） 大会テーマ「創めよう！図書館の世紀～知・人・夢づくり～」
平成16年3月18日	新電算システムに移行し、「横断検索」等を開始
平成16年6月18日	子ども図書研究室を開設
平成17年4月1日	創立80周年記念事業を年間にわたり展開
平成17年9月1日	『「しずおか」の貴重書』刊行
平成19年10月26日	「静岡県立中央図書館と浙江図書館に関する姉妹図書館締結の意向書」を浙江図書館にて調印
平成21年2月24日	「静岡県立中央図書館と浙江図書館との友好提携書」を当館にて締結
平成21年3月11日	県立中央図書館、県立美術館、財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所、静岡県立大学の4機関による「文化の丘づくり事業推進に関する協定」を締結
平成21年7月1日	インフォメーション棟耐震補強工事のため休館、工事着工
平成21年9月25日	葵文庫、久能文庫、特別取扱資料の一部を静岡県総合教育センター内「あすなろ県立中央図書館収蔵庫」から県立中央図書館に移動翌月より月1回の葵文庫、久能文庫閲覧日を設定し閲覧開始
平成21年10月1日	耐震補強工事中一部開館。閲覧室の利用を再開
平成21年10月2日	『「しずおか」の貴重書（改訂版）』刊行
平成21年10月7日	国民文化祭協賛事業「江戸から明治へ 初代県知事関口隆吉としずおかの貴重書」展（会場：県立美術館）第1部を開催（～10月17日）
平成21年10月15日	『関口隆吉関係書簡集』発行
平成21年11月3日	国民文化祭協賛事業「江戸から明治へ 初代県知事関口隆吉としずおかの貴重書」展（会場：グランシップ）第2部を開催（～11月8日）
平成22年2月25日	インフォメーション棟耐震補強工事完成
平成22年3月31日	耐震補強工事関連作業及びシステム更新作業のため休館
平成22年5月1日	図書館電算システムの更新及び当館Webページの全面リニューアル。地域資料の書誌データが、個人利用者でもダウンロード可能に
平成22年6月1日	耐震補強工事及び関連作業と電算システム更新作業をすべて終え、リニューアルオープン。また、携帯電話からレファレンスの申込及び事例検索が可能。事前申込みにより葵文庫、久能文庫等の貴重書を本館で随時閲覧可能
平成22年6月	「国民読書年」関連イベントを実施（～12月）
平成22年9月1日	インターネットから「葵文庫」所蔵資料の約半数の全文が閲覧可能に
平成23年1月8日	貴重書常設展示コーナー設置
平成23年2月1日	国立国会図書館デジタルアーカイブポータル（PORTA）と連携、当館デジタルライブラリーがPORTAから検索可能に
平成23年5月	電子書籍関連プロジェクト実施（～11月）
平成23年7月9日	健康医療情報コーナーを新設

平成23年11月29日	平成23年度関東・甲信越静地区図書館地区別研修開催（～12月2日）
平成24年2月1日	閲覧室等空調設備工事、資料棟屋上防水工事、防火設備等改修工事、非常用照明設備工事、分電盤改修工事等大規模改修工事及び特別整理のため休館（～3月15日まで）
平成24年3月16日	閲覧室等空調設備工事等大規模改修完成、国立国会図書館歴史的音源サービスの提供開始
平成24年4月1日	子ども図書研究室の一部複本資料の個人貸出を開始
平成24年6月	図書館講座「葵レク」開始
平成25年3月28日	「葵文庫」所蔵資料の全ページ電子化・公開
平成25年4月	歴史文化情報センター「授業の種」公開
平成26年2月	富士山関係資料デジタルライブラリー公開
平成26年7月	国立国会図書館デジタル化資料送信サービスの館内での利用を開始
平成27年4月1日	創立90周年記念事業を年間にわたり展開
平成27年6月2日	山梨県立図書館と「富士山関係資料に関する連携協定」を締結
平成27年8月	静岡県に関する行政資料の電子データ収集、デジタルライブラリーで公開
平成28年2月	閲覧室に公衆無線LAN設備導入
平成28年4月	祝日開館開始
平成28年6月	「インターネット予約による市町立図書館等受取サービス」本格導入
平成29年7月4日	閲覧室床にひび割れが確認されたことによる臨時休館（～7月31日）8月1日以降「閲覧室の利用」以外の業務を順次再開
平成30年3月	「新県立中央図書館基本構想」策定
平成30年4月1日	「静岡県文化センターの組織及び運営に関する規則」を「静岡県文化センター運営に関する規則」に改正
平成30年5月7日	旧埋蔵文化財センター建物を分掌替により所管
平成31年2月15日	閲覧室床ひび割れ補修工事完了
平成31年3月14日	閲覧室の利用を再開
平成31年3月	「新県立中央図書館基本計画」策定
令和元年10月12日	台風19号接近に伴う臨時休館
令和2年3月	「新県立中央図書館管理運営計画」策定
令和2年4月18日	新型コロナウイルス感染防止対策のため臨時休館（～5/11）（4/18～4/27はシステム更新による休館）
令和2年8月	「新県立中央図書館基本計画」改訂
令和2年9月7日	グランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」閉室
令和2年10月1日	子どもコーナー「どんぐりひろば」開設
令和3年3月	「新県立中央図書館整備計画」策定
令和3年9月	「新県立中央図書館整備計画」「新県立中央図書館管理運営計画」更新
令和3年10月1日	電子図書館サービス開始
令和4年9月	「新県立中央図書館システム基本構想」策定

(2) 組織図

令和5年4月1日現在



(その他の会計年度任用職員等)

職名	人数
会計年度任用職員	12

(3) 事業の概要

「生涯学習の拠点としての図書館」、「市町立図書館のための図書館」、「資料情報センターとしての図書館」として、次の方針により事業を推進する。

ア 資料の整備充実

図書資料、視聴覚資料等の収集・整備・充実を図る。

イ サービスの充実

図書資料の利用促進、レファレンス・サービスの充実、視聴覚活動の充実、図書館利用教育を推進する。

ウ 市町立図書館への支援

市町立図書館の運営等の支援及び協力車の巡回を実施する。また、市町立図書館職員の資質の向上を図るための研修を実施するとともに、図書館活動の振興・奨励を図る。

エ 関係機関・関係団体との連携・協力

大学・専門図書館等や図書館関係団体との連携を図り、情報を交換するとともに図書館活動の振興を図る。

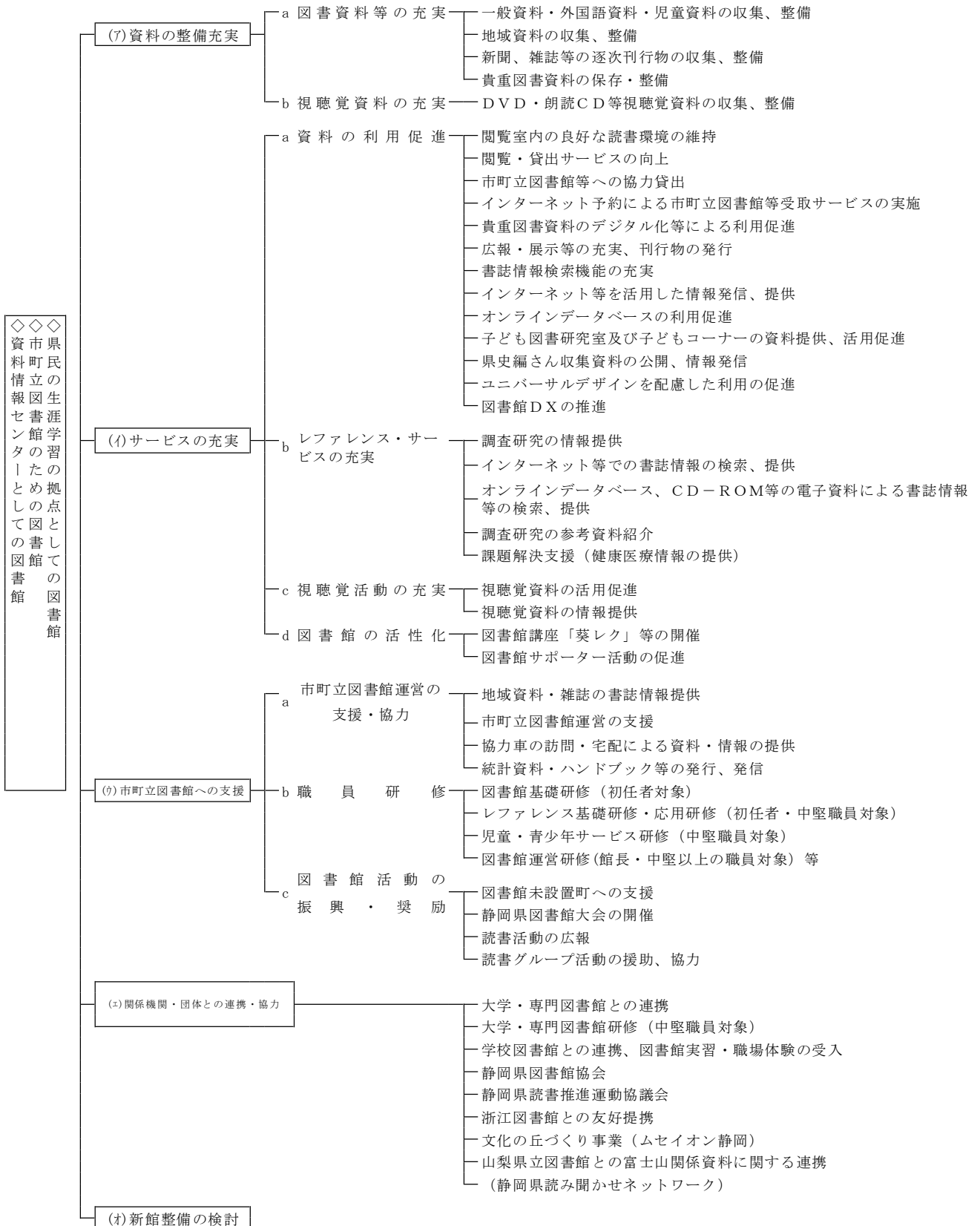
オ 新館整備の検討

社会教育課等と連携し、多くの人々が心から待ち望む新県立中央図書館整備に取り組む。

(4) 令和4年度静岡県立中央図書館事業体系

ア 基本方針

県立中央図書館は、「県民の生涯学習の拠点としての図書館、市町立図書館のための図書館及び資料情報センターとしての図書館」として、県民の教育及び文化の向上に寄与する。



イ 中期計画2018-2021 より身近な図書館へ

(7) 基本的な役割

県民の力となり、地域の発展に寄与します。

(4) 3つの活動

- a 県立図書館ならではの資料とサービスを通じて、全ての県民の「知る」「学ぶ」を支えます。
- b 県内図書館サービスの充実のため、県域すべての図書館をつなぎ、支援します。
- c 資料と情報を県民の財産として収集・活用し、未来へつなげます。

ウ 事業の目的、活動指標

(7) 事業の目的

「県立中央図書館は、『県民の生涯学習の拠点としての図書館、市町立図書館のための図書館、資料情報センターとしての図書館』として、県民の教育及び文化の向上に寄与する」を基本方針に、図書館サービスの向上に努めている。

(4) 指標

指 標	目 標 値	平成 28 年度		平成 29 年度		平成30年度		令和元年度		令和 2 年度	
		実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率	実績	達成率
活動 指標	県民の公立図書館 利用登録率	48.1 %	96.2 %	48.2 %	96.4 %	49.1 %	98.2 %	49.6 %	99.2 %	49.3 %	98.6 %

指 標	目 標 値	令和 3 年度	
		実績	達成率
成果 指標	県内公立図書館の 県民 1 人あたり年 間貸出数(※)	(令和 7 年度) 5.7 点	95.0 %
活動 指標	県立中央図書館等 が所蔵する貴重 書・地域資料をデ ジタル化したふじ のくにアーカイブ の提供資料数	(令和 7 年度) 15,703 点	89.7 %
活動 指標	県立中央図書館の 図書等をインター ネット予約により 市町立図書館等で 受領するサービス 利用者数	(毎年度) 2,905 人	138.3 %
活動 指標	県民の公立図書館 利用登録率(※)	(令和 7 年度) 49.2 %	94.6 %

・上記は「静岡県教育振興基本計画」に記載されている指標だが、(※)の指標に関しては「静岡県の新ビジョン後期アクションプラン」にも記載されている。

<評価（課題等）及び改善>

中期計画は令和 3 年度をもって満了となった。令和 4 年度以降は新館整備に向けて機動的に対応

するため中期計画の更新は行わないが、令和7年度までの新たな複数の指標を設定することによって、引き続き、県民への図書館サービス向上に繋がる資料収集やレファレンス、県内図書館員の研修等を推進することとした。なお、県民の公立図書館利用登録率の令和3年度実績は、令和2年度とほぼ同じ結果となった。

エ 新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年3月から図書館サービスの一部を制限している。令和2年度当初、県の方針により臨時休館をしたが、それ以降は臨時休館することなく、県民と職員の安全を確保しつつ、可能な範囲でサービスの継続に努めている。

(1) 主な館内の対応

- ・ 基本的な感染対策
(手指消毒液の設置、カウンターシールド設置、マスク着用、館内消毒、換気等)
- ・ サーマルカメラの設置
- ・ 人との距離を確保するために椅子の間引き等

(2) 各種事業（図書館職員研修、講演会・講座等）の対応

- ・ 開催方法の工夫により実施（オンライン配信、参加人数の制限など）
- ・ オンライン配信やWeb会議の活用

※以降、各事業の説明は、「新型コロナウイルス感染症」は「コロナ」と略す。

オ 令和3・4年度の主な事業の「目的、計画及び実績（成果）」及び「評価（課題等）及び改善」

(7) 資料の整備充実

<目的・計画>

調査研究の機能を遂行するために各分野にわたる資料収集・整備を行うとともに、あわせて市町立図書館等への支援・協力のための資料を収集・整備をし、資料の充実を図る。

<実績>

当館の蔵書構成や収集基準を考慮しながら、資料収集・整備を行った。また、市町立図書館等への支援・協力を念頭においた資料の充実も図った。

○ 図書資料

年度末所蔵数

(単位：冊)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
一般図書	563,369	573,551	582,026	586,943
児童資料	103,433	107,937	112,238	115,594
地域資料	146,904	149,355	152,342	154,288
外国語資料	11,913	11,914	12,056	12,057
旧分類資料	40,677	40,677	40,677	40,677
特別集書(葵文庫等)	6,266	6,266	6,266	6,266
合計	872,562	889,700	905,605	915,825

年度内受入数の内訳

(単位：冊)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
購入	15,367	14,380	12,790	8,612
寄贈等	3,182	2,851	3,137	1,608
受入計	18,549	17,231	15,927	10,220
除籍	1,766	93	22	0
増減合計	16,783	17,138	15,905	10,220

※除籍した内容は、閲覧不能や所在不明の資料等である。

○新聞・雑誌(年度末所蔵数)

(単位：タイトル)

区分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
雑誌	総タイトル数	9,766	9,783	9,804	9,877
	うち継続受入 タイトル数	1,980	1,918	1,861	1,838
新聞	総タイトル数	45	46	53	53
	うち継続受入 タイトル数	37	37	43	42

※雑誌タイトル数は改題雑誌を含む。

○ 視聴覚資料等

年度末所蔵数

(単位：点)

区 分		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
視聴覚 資 料	ビデオテープ	1,819	1,819	1,819	1,819
	DVD	1,920	1,957	2,123	2,158
	朗読CD	353	353	356	378
電 子 資 料	一般・児童	179	201	211	211
	新聞雑誌	488	524	558	590
	地域資料	540	554	652	680
	貴重書	210	311	311	317
合 計		5,110	5,719	6,030	6,153

年度内受入数の内訳

(単位：冊)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
購 入	59	103	73	79
寄贈等	143	176	238	44
受入計	202	279	311	123
除 籍	△70	△69	0	0
増減合計	△132	210	311	123

※除籍した内容は、閲覧不能や所在不明の資料等である。

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

大幅な資料費削減のため、高額なレファレンス資料は使用実績を考慮して選書するなど、限られた予算で資料の充実を図った。また、市町立図書館との分担収集を意識しつつ、市町立図書館から寄せられた、専門資料の購入リクエストには、可能な限り対応した（87.7%）

児童資料は調査研究用の全点資料購入を継続した。しかし、出版点数が増加傾向にある中、調査研究用の全点購入と併せて子どもコーナーのための貸出用資料の購入を行っていきたいが、ほとんど購入ができず、予算確保が課題である。

地域資料は、新刊の出版点数も戻りつつあり、古書についても資料的価値の高い資料を購入することができた。引き続き、静岡県に関する資料の網羅的収集・整理に努める。

②令和4年度

資料費が増額され、今年度出版された必要な資料を購入するとともに、昨年度購入を控えた資料についても購入し、資料の充実を図った。また、市町立図書館との分担収集を意識しつつ、市町立図書館から寄せられた、専門資料の購入リクエストには、可能な限り対応した（95.1%）。

児童資料は、調査研究用の全点資料購入を継続した。出版点数が増加傾向であるが、子どもコーナーのための貸出用資料についても必要な資料を購入することができた。

地域資料は、県人著作等に留意して収集に努め、古書については新規の古書店を開拓した。引き続き、静岡県に関する資料の網羅的収集・整理に努める。

(イ) サービスの充実

a 資料の利用促進

(a) 閲覧・貸出、市町立図書館等への協力貸出、インターネット予約による市町立図書館等受取サービス

- ・協力貸出（県立中央図書館資料を県内市町立図書館等を通じて行う貸出サービス）
- ・インターネット予約による市町立図書館等受取サービス（個人がインターネットで県立中央図書館資料を予約し、県内市町立図書館等で受取るサービス）

<目的・計画>

当館が県域全体で多くの県民に活用されるよう、市町立図書館等とのさらなる連携に努めるとともに、今後も県域サービスの充実を目指す。

<実績>

○ 資料利用状況

【本館】（令和2年10月から子どもコーナー「どんぐりひろば」を含む）

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
開館日数（日）	308	289	308	255
入館者数（人）	156,311	119,625	154,894	125,229
一日平均（人）	508	414	503	491
新規登録者数(人)	1,704	1,694	2,091	2,905
貸出人数（人）	18,725	20,066	23,221	18,300
貸出数（冊・点）	92,554	108,949	125,901	80,456

○ 特別取扱資料の閲覧・利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
利用者数（人）	37	18	29	21
利用資料数（点）	633	255	744	207

○ 協力貸出状況

(単位：冊・点)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
市立図書館	5,178	4,993	5,315	4,250
町立図書館	778	688	692	624
大学・専門図書館	915	707	664	586
合計	6,871	6,388	6,671	5,460

○ インターネット予約による市町立図書館等受取サービスの状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
利用者数（人）	1,847	1,953	2,905	2,429
利用資料数(冊・点)	8,043	8,077	10,975	8,621

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

図書館自体はコロナ対策として、座席制限等を行っていたが、休館はしなかったためか入館者、貸出冊数にそれほど影響は見られない。個人貸出については、非来館型利用のインターネット予約による市町立図書館等受取サービスでの貸出増が続いている。協力貸出については、市町立図書館等受取サービスの増加に伴い減少が予想されたが、利用はほぼ横這いである。今後も県内市町立図書館等と連携して多くの県民に利用してもらえるようサービスの充実に努めていきたい。

②令和4年度

令和4年度も図書館自体はコロナ対策として、座席制限等を行っていたが、入館者、貸出冊数にそれほど影響は見られない。非来館型利用のインターネット予約による市町立図書館等受取サービスの利用数についても昨年度とほぼ同数で利用者にサービスが定着してきている。

協力貸出については、市町立図書館等受取サービスの増加に伴い減少が予想されたが、利用は昨年度と同様ほぼ横這いである。今後も県内市町立図書館等と連携して多くの県民に利用してもらえるようサービスの充実に努めていきたい。

(b) 貴重資料の展示やデジタル化等

<目的・計画>

未来の県民ために貴重資料の修復と保存のためのデジタル化に取り組み、それら資料の利活用に努める。

<実績>

令和3・4年度ともに、貴重資料の常設展示コーナーを設置し、所蔵する貴重資料を毎月入れ替えて展示した。内容紹介パネルに工夫を凝らし、解説のパンフレット及び関連図書も配架した。

また、貴重資料の保存と公開の両立のため、資料のデジタル（含むマイクロ）化を計画的に進め、画像を「ふじのくにアーカイブ」で公開している。最近のデジタル化並びに公開状況は以下のとおりである。

年度	事業	特別文庫資料ほか	地域資料
元年度	デジタル化	久能文庫『書籍目録作者寄』ほか142タイトル	『大井家日記』のうち8点 (修繕とデジタル化を一括で実施)
	修繕資料	葵文庫『Coltons general atlas』ほか3タイトル	
2年度	デジタル化	久能文庫『天保甲辰録』ほか96タイトル	『遠江城砦誌』『宮田日記』ほか38タイトル
	修繕資料	葵文庫『De Hypotheekbank Haar Wezen en Hare Waarde』ほか12タイトル	『大井家日記』のうち3点
3年度	デジタル化	久能文庫『関口家資料』ほか3タイトル	『大井家日記』『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』のうち448点
	修繕資料	葵文庫『An English spelling-book』ほか26タイトル	『大井家日記』ほか2タイトル計8点
4年度	デジタル化		『大井家日記』『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』のうち643点ほか1タイトル計650点
	修繕資料	葵文庫『Leitfaden zum Unterricht in der deutschen Sprache und Literatur』ほか8タイトル	『静岡県史』『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』のうち11点計12点

<評価（課題等）及び改善>

① 令和3年度

(1) デジタル化について

一般貴重書は、久能文庫のうち国文学研修史料館でデジタル化予定分を除いた未デジタル化タイトル分全てをデジタル化した。地域貴重書については、前年度修繕をした『大井家日記』と新たに『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』のデジタル化に着手した。

(2) 修繕について

一般貴重書は、劣化度調査に基づき順次行っており、葵文庫『An English spelling-book』ほか26タイトルの修繕を行った。

(3) 地域資料の保存と公開の両立について

地域貴重書は、一部資料の劣化度調査を行った。その調査結果をもとに貴重資料の保存と公開の両立のため、次年度以降保存計画を検討することとした。

② 令和4年度

令和4年度より一般貴重書と地域貴重書のデジタル化や修繕等の計画及び実施を統括し、計画的に順次行うこととした。

(1) デジタル化について

一般貴重書で継続して行ってきた「久能文庫」が前年度に終了したため（国文学研修史料館によるデジタル化を除く）、本年度は地域貴重書の前年度修繕済みの『大井家日記』『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』のうち643点ほか1タイトル計650点を優先的にデジタル化した。

(2) 修繕について

一般貴重書は劣化度調査に基づいた計画どおり、葵文庫『Leitfaden zum Unterricht in der deutschen Sprache und Literatur』ほか8タイトル修繕を行った。地域貴重書については、デジタル化候補の『静岡県史』『駿河国駿東郡原宿渡辺家文書』のうち11点の計12点の修繕を優先的に行った。

(3) 新館に向けた全貴重書の保存計画の作成

新館移転に向けて、当館所蔵貴重書の年次保存計画を作成し、併せて予算要求を行った。

(4) 地域貴重書の調査計画

未修繕と未デジタル化の貴重資料を中心に、今後の計画における優先度と方向性を定めるために、有識者による調査委員会を令和5年度に結成することとした。

(5) 貴重資料の常設展示

貴重資料の常設展示については、多くの利用者に貴重資料に親しみをもってもらえた。この常設展示は今後も継続していく予定である。

(c) 刊行物の発行

<目的・計画>

静岡県立中央図書館だより『文化の丘』を年2回（9月、2月）発行。読者の幅を広げるため、県立大学や県立美術館と共に形成する文化ゾーンを想像する「文化の丘」の副題をつけて発行している。

当館の資料や機能、行事企画等を広く一般県民に紹介し、当館存在をPRするとともに、利用促進を図る。（1～3面）

県立図書館として市町立図書館の支援を行い、県内図書館の振興に務めていることをアピールするとともに市町立図書館の情報共有に寄与する。（4面スナップショット）

<実績>

①令和3年度

9月号では大河ドラマにおいて9～10月頃に静岡県関連の放映があると予想されたため、沢栄一と当館の関連記事、資料紹介を掲載した。2月号では、協働をキーワードに新規事業、DX実証実験について紹介した。

市町立図書館が工夫を凝らした館内装飾を紹介するコーナーを設けて、事例を共有する取組も行った。

②令和4年度

本県に関連する大河ドラマの放映が続いたため、9月号では舞台となっている伊豆に関連して、歴史文化情報センターの伊豆歴史散歩、くずし字解読講座等の紹介を掲載した。2月号では、デジタルライブラリー「ふじのくにアーカイブ」より、徳川家康に関連づけて特殊コレク

シヨンの浮世絵、久能文庫の資料、絵はがき等の紹介を掲載した。

市町立図書館が工夫を凝らした館内装飾を紹介するコーナーを設けて、事例を共有する取組も行った。

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

多くの人に手に取っていただけるよう、写真や見出し、デザインに気を配り、テーマの設定についても時流に沿って当館をより深く理解していただくためのものを選んだ。

市町立図書館を紹介するコーナーの事例を共有する取組は、市町立図書館等から好評を得ている。

②令和4年度

大河ドラマを切り口として、当館のサービス（特に非来館型サービス）を紹介する紙面構成とした。多くの人が注目する大河ドラマと関連させることによって、読者が当館のサービスに関心を持てるよう工夫した。

市町立図書館を紹介するコーナーの事例を共有する取組は、市町立図書館等から好評を得ている。

今後も当館をPRするための大切なツールとして、Twitter等SNSによる広報と両輪となってバランス良く幅広い層に効果的なPRをしていきたい。

(d) インターネット等を活用した情報発信、提供

<目的・計画>

時代の流れを読み取り、適切な情報ツールを用いて、静岡県立中央図書館の事業及び魅力を内外に伝える。

<実績>

①令和3年度

図書館DX実証実験の利用を促すため、短尺動画を作成・公開した。10月には文化の丘フェスタの特別企画「文化の丘マルシェ」において大学生と協働し、Instagramでの広報を実施した。

②令和4年度

引き続き公式Twitter及びYouTubeの安定的運用に努めた。10月には「ブックフェスタしずおか」の開催に合わせ、公式Twitterでイベント参加者と交流した。

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

令和2年度に引き続き、公式YouTubeチャンネルにおける動画配信や公式Twitterによる情報発信に努めた。

図書館DX実証実験に関する動画を公式YouTubeチャンネルで公開した。時代の流れに沿った広報を目指して、昨今TikTok等で市民権を得ている短尺動画とした。

文化の丘フェスタの特別企画「文化の丘マルシェ」では公式Twitterによる情報発信のほか、大学生と協働し、Instagramを運用した。1ヶ月の短期間かつ限定的な運用であったが、フォロ

ワー数は150人を超え、広報の役割を果たすことができた。また、ランディングページ^{※1}を作成し、視覚的な広報を手がけた。

※1 検索結果や広告などを通じて、訪問者が最初にアクセスするページ

②令和4年度

公式Twitterでは、「地域資料」や「貴重書」に関するツイートのエンゲージメント^{※2}が伸びる傾向にあることがわかった。投稿する際、どうすれば当館の魅力を伝えることができるかを考慮し投稿した。

「ブックフェスタしずおか」の期間中、当館公式Twitterでイベントを紹介する連続投稿を行ったほか、当日の様子などを主催者や参加者と協力しながら発信したことにより、シナジー効果が得られた。

今後も時代に即した情報ツールを活用して、積極的な情報の発信と提供を行う。

※2 Twitterのユーザーがツイートに反応した回数

(e) 子ども読書活動の推進

<目的・計画>

「子どもの読書活動の推進に関する法律」、「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」、「静岡県子ども読書活動推進計画」に基づき、子どもの読書活動推進のために市町図書館（室）や児童書研究者等への支援充実を目指す。

<実績>

① 子どもコーナー「どんぐりひろば」開設（令和2年10月1日）

グランシップ天井耐震補強工事休館に伴い、グランシップ県立図書館コーナー「えほんのひろば」を閉室し、県立中央図書館子どもコーナー「どんぐりひろば」を開設、サービスを継続する。プレオープン令和2年5月17日（日）、令和2年10月1日（木）に正式にオープンした。配架資料：読みもの 約2,000冊、絵本 約6,000冊、知識の本 約1,000冊

区分	令和2年度 令和2年10月1日から	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
入室者数（人）	3,908	8,842	6,915
新規登録者数（人）	93	210	164
貸出人数（人）	957	2,357	1,907
貸出数（冊・点）	8,425	18,929	14,391

② 「子ども図書研究室講演会」実施

子どもと本を結びつける活動をしている人たちを支援するために、学校図書館関係者、公立図書館職員、教員、ボランティア等から一般県民までを対象として、講演会を実施している。

令和4年度は慶応義塾大学教授の今井むつみ氏を講師に迎え、『言葉の発達、思考の発達を助ける 絵本読みと読書』と題して、子どもが言葉を覚える・使用するとはどのようなことを意味しているか、言葉と考える力の関係、絵本の読み聞かせや読書と子どもに与える影響等について講演していただいた。参加者の人数を制限しつつも3年ぶりの集合開催を実施するとともに動画配信も実施した。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
開催日	7月9日(火)	10月23日(金) ～11月10日(火)	7月13日(火) ～8月20日(金)	7月5日(火) 7月26日(火)～9月2日(金)
会場	県立美術館講堂	動画配信のみ	動画配信のみ	講堂・動画配信
講師	落合美知子	原田勝	草谷桂子	今井 むつみ
参加人数(人)	214	720回再生	1,010回再生	集合 95人 446回再生
内容	ことばを育むわらべうた	外国文学は世界への窓、心のフィルター	「絵本の魅力」～ジェンダ一の視点で楽しむ～	言葉の発達、思考の発達を助ける絵本読みと読書

③ 「新刊児童図書巡回展示研修会」実施

『静岡県子ども読書活動推進計画（第三次計画）』に基づき、県内市町立図書館及び学校図書館の選書業務を支援し、児童資料の充実や職員の資質向上を図るため研修会を実施している。当館が全点購入している新刊児童図書のうち約1,000冊を現物展示するとともに、選書に関する研修を行い、併せて各館の選書の相談にも応じる。

平成26年度までは県内1か所での開催であったが、平成27年度からは地区を替え2回開催している。地区により内容も公共図書館向けと学校図書館向けに分け、参加者にはそれぞれの業務内容に沿った講義を聴くことができるようにしていたが、令和2年度以降はコロナの影響で、外部講師による講座を止め、新刊本紹介を中心とした内容で開催した。

期 日	令和4年10月28日（金）	令和4年11月2日（水）
会 場	沼津市立図書館	県立中央図書館
講 師	資料課職員	資料課職員
参加人数(人)	20人	AM：27人・PM：12人

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度	
主な内容	市町立 図書館向	学校 図書館向	同内容 (新刊本紹介のみ)		同内容 (新刊本紹介のみ)		同内容 (新刊本紹介のみ)	
期日	11/6	11/8	11/13	11/18	12/3	12/9	10/28	11/2
会場	掛川市	沼津市	沼津市	県立中央	掛川市	県立中央	沼津市	県立中央
参加人数(人)	31	38	22	55	29	50	20	39

④ 「新刊サロン」実施

子どもの読書活動関係者に情報交換、交流の場を提供する目的で、平成24年度から偶数月第3水曜（12月のみ土曜）の午前中に開催している。職員が新刊児童書の紹介をし、参加者が自由に語り合う形で情報交換をする。

令和2・3年度はコロナ対策のため、選定した新刊を紹介する動画を配信する形で実施したが、令和4年度については1回目は動画配信のみとしたが、2回目以降は参加人数を制限しての集合開催と動画配信を実施した。（5回目は、集合開催を2月15日、動画を2月24日から配信予定）

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
回数(回)	5	5	5	4 (全5回)
延べ参加人数(人)	54	再生回数 3,482回 (年度末現在)	再生回数 2,984回 (年度末現在)	参加者数 12人(2~4回) 再生回数1,264回 (配信終了の3回分)

⑤ 子ども図書研究室講師派遣

平成30年度に試行的に実施し、翌令和元年度から新規事業として開始した。県内市町立図書館及び学校図書館等における児童資料の充実や選書に携わる担当者の資質向上を図ることを趣旨とし、図書館や教育委員会で主催する児童資料に関する研修に、当館職員を講師として派遣している。

令和4年度は、5団体を対象に実施した。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日時点
回数(回)	9	5	5	5
延べ参加人数(人)	252	99	110	146

⑥ 『子ども図書研究室だより』発行

子ども図書研究室の活動を周知とともに、県内外の子どもの読書推進に関わる情報を発信することを目的に、年3回広報誌を発行している。令和5年1月末日現在で103号まで発行している。(今後、令和5年2月に104号発行予定)

⑦ 「おはなしかい」実施

令和元年度まではグランシップ「えほんのひろば」で、その後本館に新設の子どもコーナー「どんぐりひろば」で、手遊び、わらべうたなどを含む絵本の読み聞かせを定期的に行っている。週2回、職員が実施し、週1回と第3日曜日各1回を当館読み聞かせサポーター(ボランティア)が実施している。また、サポーターによる「おはなしかいスペシャル」は不定期で実施している。

令和4年度も前年から引き続き、人数制限をしながら開催している。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
回数(回)	109	16	75	109
延べ参加人数(人)	1,136	76	463	715

⑧ グランシップ企画事業「こどものくに」への協賛

元年度までは、ゴールデンウィークにはグランシップ企画事業「こどものくに」に合わせて、「えほんのひろば」で参加型のイベントを実施していたが、令和2年度はコロナの影響で中止となった。「えほんのひろば」閉室後の令和3・4年度はグランシップクリスマスイベント「ふゆのおくりもの」に「どんぐりひろば」として参加、絵本とふれ合えるイベントを実施した。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
こどものくにのテーマ	ハロー！ みらいくん	中止	ふゆのおくりもの	ふゆのおくりもの
えほんのひろばのテーマ	みらいのじぶんをそ うぞうしてみよう	—	—	—
参加人数(人)	1,640	—	1,393	約800

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

令和2年度に引き続き、コロナ対策のため、「子ども図書研究室講師派遣事業」、「新刊サロン」等、集合形式を想定した事業が動画配信での実施となった。県内外から好評のため、集合形式が可能になったときに、どのような形態で行うかなど検討が必要である。また、今後も動画配信を継続する場合、視聴者の声も参考にしながら、見やすい、わかりやすい動画の作成スキルを職員が磨いていく必要がある。

令和2年度以降は、日曜日の午後に職員が在室し、子ども図書研究室内を案内するツアーを開催したが、コロナの影響もあり、入室者・参加者共に伸び悩んだ。貸出用資料が移動し、子どもの利用できる資料はなくなったが、見学は受け入れている。

コロナ対策のため、令和3年度の子ども図書研究室団体利用は上限4名とし、それ以上の場合は会議室を併用することとしたが、費用負担が発生することもあり、利用を希望する団体はなかった。感染症対策をしつつ利用しやすい方法について今後も検討していく。

本館で児童への直接サービスが可能になり、「子ども図書研究室研究」との連携、新館へ向けて児童サービスのノウハウの蓄積等を行いやすくなった。「えほんのひろば」は閉室したが、新館も見据えてグランシップとの連携も引き続き行っていきたい。

②令和4年度

令和4年度は、コロナ対策が緩和されたため、「子ども図書研究室講演会」や「新刊サロン」等、人数制限は行ったが集合形式で実施することができた。参加人数を制限しての開催のため、動画配信も実施した。人数制限が緩和された場合の動画配信を行うか検討が必要である。

令和4年度から、開館日の14時から17時まで職員が子ども図書研究室に在室するようになったところ、気軽に入室できるためか利用が増加した。

コロナ対策のため、令和4年度も子ども図書研究室団体利用は上限4名とし、それ以上の場合は会議室を併用することとしたが、費用負担が発生することもあり、利用を希望する団体は少なかった。感染症対策をしつつ利用しやすい方法について今後も検討していく。

本館で児童への直接サービスが可能になり、「子ども図書研究室研究」との連携、新館へ向けて児童サービスのノウハウの蓄積等を行いやすくなった。「えほんのひろば」は閉室したが、新館も見据えてグランシップとの連携も引き続き行っていきたい。

(f) 県史編さん収集資料の整理、公開、情報発信

<目的・計画>

『静岡県史』編さん事業の過程で集められた県内外の古文書類等の複製資料や明治以降の県内発行新聞各紙などを提供し利活用してもらうことで、県民の地域の歴史に関連した興味関心

の高揚と課題解決支援に努める。

<実績>

静岡県史編さんにより収集した資料（約16万点）を保存・整理・公開し、併せて県内の歴史・民俗に関する問い合わせにも対応した。収集資料を学校の教材用に編集する「授業の種」公開のため、テーマを設定して資料を選定した。

①県史編さん収集資料の保存・整理・公開

- ・マイクロフィルムの保存作業
- ・資料目録の修正・追加・作成
- ・資料原所蔵者への公開許可申請作業
- ・資料目録検索システムのインターネット公開

②歴史文化情報の活用・発信

- ・来館・電話・FAX・メールによるレファレンスサービス
- ・閲覧用図書・開架資料・閉架資料・所蔵写真等の貸出
- ・市町村史編さん事業への支援
- ・資料紹介のインターネット公開

○ 歴史文化センター利用状況

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
開館日数（日）	240	243	243	199
入室者数（人）	201	179	170	153
資料利用人数（人）	200	182	157	157
資料利用件数（件）	1,419	1,088	1,390	1,827
レファレンス（件）	195	201	157	124
資料掲載許可数（点）	40	44	43	25

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

自治体史編さんのため、県史編さん収集資料の閲覧・複写請求が多く、必要な資料を提供したため資料利用件数（件）は増加した。コロナの影響で来室できなかった利用者に対して、閉架資料の郵送複写サービスを行った。

ホームページ閲覧数は平成30年度をピークにそれ以降閲覧数が落ち込んでいる。これは利用者数の減少と相関していると考えられる。現在、ホームページで公開中の「授業の種」、「くずし字解説講座」、「歴史散歩」は年に数回問合せがあるため、これらの中から新しい作品を作ることで、閲覧数を増やして利用者の増加を図っていきたい。

②令和4年度

コロナ禍は、センター内での利用が原則となっている資料も多く、県外からの研究者や学生の利用が減ったことによる影響が大きいと考えられる。しかし、昨年度から続く自治体史編さんのための県史編さん収集資料の閲覧、複写申請は今年度も多くあり、必要な資料の提供を行ったことで昨年度同様、資料利用件数（件）は増加した。ネット公開の準備を進めているが、

所蔵者の記録が数十年前ということもあり、思うようにはかどらないことが多いが、公開できる資料を少しでも多くすることが、利用者の増加にもつながると思うので、今後も継続して行っていきたい。

(g) 健康医療情報サービスの推進

<目的・計画>

県民に向けた健康医療情報の発信と資料の提供を行うことで、健康医療に関連した課題解決支援に務める。

<実績>

主管課を調査課とした課を横断したメンバーで構成した「健康医療情報サービス委員会」で取り組んだ。

① 健康医療情報コーナー

令和3年度は、令和2年度に新設された「がん情報コーナー」と「健康医療情報コーナー」の資料をより利用しやすいように配架し直した。また、テーマ特集展示も工夫し継続して行った。

② オンラインデータベースの利用促進

令和3年度からは普段の生活に関連した健康医療情報を読むことができる「ヨミドクター」（読売新聞）を、令和4年度からは科学技術や医学・薬学の文献情報を収録しているデータベース「JDreamIII」を導入し、当館のWebサイトやTwitter等で広報活動を行い利用促進に努めた。

③ 健康医療情報講演会

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 (令和5年1月末現在)
開催日	2月22日(土) 10:00~12:00	3月24日(水)～ 4月23日(金) 録画による動画配信	3月5日(土) 14:00~16:00	2月18日(土) 14:00~16:00
内容	ノルディック・ウォーク体験教室	ア 健康・医療情報のチェックポイント: 惑わされず、選んでいくために イ 新型コロナウイルス感染症への対応とウイズコロナ時代において私たちが身につけるべきヘルスリテラシー	ひとりで悩まないで-AYA世代でがんを体験したわたしたちからのメッセージ	応急手当を学ぶ
講師	静岡県ノルディック・ウォーク連盟 大橋敏弘・鈴木憲介	ア 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系 専攻 教授 中山健夫 イ 放送大学 教養学部 生活と福祉コース 教授 田城孝雄	認定 NPO 法人オレンジティ 中野季里子・小磯朋子	駿河区消防署職員
参加人数	24	視聴人数 ア 144 イ 145	36	未定

④ 出張図書館

健康医療情報に関連するイベントの会場に出向いて、当館所蔵資料（主に医療情報）の展示、利用者登録、貸出等を行っているが、令和2年度及び3年度はコロナの影響で中止した。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
開催日	11月9日(土) 10日(日) 11:00~16:00	コロナ禍のため中止	コロナ禍のため中止	10月21日(金) 10:30~16:00
会場	グランシップ	—	—	グランシップ
イベント名称	第24回静岡健康・長寿学術フォーラム	—	—	第27回静岡健康・長寿学術フォーラム

⑤ まちの保健室

- ・令和2年度、3年度は県内におけるコロナの感染拡大の状況を考慮して中止となった。
- ・令和4年11月25日（金）午前9時～11時00分
会場：当館インフォメーションホール 相談：9人
看護師による個別の健康相談と共に健康講座（時間30分・参加：16人）を開催した。

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

- ・実施予定だった「出張図書館」、「まちの保健室」は県内におけるコロナの状況を考慮して全て中止となった。「まちの保健室」については、現在の対面相談方式を基本とするが、Zoomなどによるオンライン形式での開催も看護師協会と検討する必要がある。「出張図書館」については、健康医療関連のイベントを原則としながらも、健康医療情報コーナーや図書館の広報も含めて今後は他イベントへの参加も検討する。平成25年度から県立子ども病院と共催していた「医療情報キホン勉強会」は、県立子ども病院側で開催が難しくなったため令和2年度末で廃止となった。
- ・健康医療情報講演会については、当初集合型での実施を予定していたが、県内におけるコロナの状況を考慮して、ライブによるオンライン講演会対応を依頼して実施した。今後ライブによるオンライン講演も開催方法の一つとして考えていく必要がある。

②令和4年度

- ・「健康医療情報コーナー」及び「がん情報コーナー」による情報提供を継続的に行った。また、「特集展示」として2か月ごとにテーマを設定し、関連資料の配架と貸出を行った。コーナーをリニューアルして2年が経過するので、活用状況を検証し、配架資料や配置について検討する必要がある。
- ・「出張図書館」と「まちの保健室」を3年ぶりに開催し、関係資料の展示・貸出、健康医療情報サービスの広報を行った。健康医療情報講演会を集合型で2月に実施する予定である。今後も医療関係機関等と連携したイベントを通し、当館の健康医療情報資料を基にした支援に繋げていく。また、医療機関や他県等が行っている健康医療情報関連の取組についての情報を収集し、県民の課題解決のための支援を行う。情報発信の方法についても同様に収集し、

新たな手段を検討する必要がある。

- ・オンラインデータベースの利用を促進するため、他県等が行っている事例等の情報を収集し、新たな広報手段等を検討する必要がある。

(h) 障害者サービスの推進

<目的・計画>

県立図書館として担うべき障害者サービスの体制作りと新館における障害者サービスを中心としたユニバーサルサービスの方針を具体化し、年次計画を立てる。

<実績>

令和3年度に新たに「障害者サービス検討PT(プロジェクトチーム)」（4年度は障害者サービス委員会）を設置し、情報収集するとともに業務用マニュアルを作成した。令和4年度はサピエの団体会員になり運用を開始した。また、新館時に運用するユニバーサルサービスの展開に向けて、新たな情報収集と新館までの年次計画を立てた。

①令和3年度

障害者サービスが確立されている他県図書館の協力を仰ぎ、利用規定や実際運用しているマニュアルなどの資料を収集し、障害者サービス業務マニュアルの作成とコミュニケーションボードの改訂をした。

また、障害者サービスの実態と今後のサービスについて職員による館内職員研修を実施した。

②令和4年度

外部講師による館内職員研修を計画したが、国立国会図書館が講師派遣依頼に対応できず、愛知県図書館の障害者サービス担当者に講師依頼をしたが、コロナ拡大のため中止となった。研修は、サピエ図書館の運用方法を中心に当館職員で行った。

ユニバーサルサービスを障害者、高齢者、在住外国人（留学生を含む）の各サービスを展開する方針とし、新館の各コーナーの配置に関して新図書館整備室等に提言をした。

協力車で市町立図書館訪問時にサピエ運用の開始を通知し県民への周知を図った。また、沼津視覚特別支援学校からの依頼で児童生徒への広報資料を作成した。

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

情報収集については、障害者サービスの先進県で近県の図書館の協力を得ることができた。

また、そこで得た情報から当館における直近と今後必須となってくる課題を確認することができた。

障害者サービスプロジェクトチームが結成されたことで、障害者サービスの点においても静岡市立図書館や浜松市立図書館をはじめとした市町の図書館との繋がることもできた。今後は、市町図書館支援の方法を検討するとともに、静岡視覚障害者情報センターとの連携もしていく必要がある。

これまでマニュアルがなかった当館において、障害者サービス業務用マニュアルとより詳細で分かりやすいコミュニケーションボードを作成したことは大きな前進となったが、実際運用するにあたって改善する点も多く出てくることも考えられるため、その都度検討し柔軟に対

応していく必要がある。

②令和4年度

・サピエについて

サピエ図書館の団体会員となり運用を開始し、担当職員がサピエ図書館に関連する研修を受講し運用に関する情報収集を行った。新規の障害者登録の利用申請が3名あった。ただし、活用推進のための広報活動まで至らなかった。

・ユニバーサルサービスについて

令和4年度は、検討内容を「ユニバーサルサービス」に拡大し、新館におけるサービス内容とその整備に関して検討をした。新館準備に関連する研修や会議などで、館としての方針や配架場所など関わることに提言をした。今後は、各サービスの具体的な資料収集について検討する。

・ボランティアについて

新館でのボランティア運用についての検討を令和5年度末までに行う。

・研修について

今後も障害者サービスに関連する研修を受講するとともに、当館職員向け研修を計画的に行い情報の共有を図る。

(i) 県立図書館DX化

<目的・計画>

コロナの流行により、3密回避や非接触・非来館など、新たな生活様式に対応したサービスの提供が必須となった。図書館が提供するサービスは多岐にわたるが、県民に直接的なメリットが大きい4つのサービスについて、DX化を図る。

<実績>

令和3年度において、静岡県が進める「ふじのくにデジタルトランスフォーメーション推進事業」の一環として行う実証実験にエントリーし、実施した。

①貸出カード（バーコード）のスマートフォン表示（令和3年9月1日サービス開始）

これまでは物理カードが必須となっていたが、既に貸出カードを所有している利用者も含めて、全ての利用者が貸出カードを自身のスマートフォンで表示できるようになった。

区分	令和3年度 (9月～)	令和4年度 令和5年1月末日現在
表示数(回)	1,193	3,190

②利用者登録等Web申込（令和3年10月1日サービス開始）

これまで来館・郵送でしか利用者登録できなかったが、ふじのくに電子申請サービスを用いて、来館せずとも利用者登録が可能になった。また、Web申込で利用者登録を行った利用者には原則としてカードを発行せず、Web上で全てが完結することが可能となっている。

区分	令和3年度 (10月～)	令和4年度 令和5年1月末日現在
発行数(件)	238	1,847

③電子図書館（令和3年10月1日サービス開始）

当館の利用者登録をしている利用者であれば、時間や場所を問わず、非接触・非来館の状態
で当館の電子書籍を閲覧することができる。

提供資料数は、サービス開始時点で500点であった。以降、定期的に電子書籍を追加してお
り、令和5年1月末日時点で1,369点を提供している。

区分	令和3年度 (10月～)	令和4年度 令和5年1月末日現在
提供資料数(点)	756	613
閲覧数(回) (試し読みを除く)	4,849	5,934

④市町発行PDFファイル自動収集（クローリング）（令和4年3月収集開始）

県内各市町が発行し、ホームページで公開しているPDFファイルについて、クローリング技
術を用いて全収集する（トップページ以下5階層までのページにリンクされているPDFファイ
ルに限る）。収集した資料は今後、県民向けにWeb上で公開する予定である。

なお、本件に類似する事例について各都道府県立図書館に照会したところ、類似事例は無か
った。

令和5年1月末日時点で、471,112件のファイルを収集した。

<評価（課題等）及び改善>

①貸出カード（バーコード）のスマホ表示

令和3年9月のサービス提供開始時は、スマホ表示を行うためのボタンが当館ホームページ
（マイライブラリー）の階層の深いところにあつたため、利用者から「ボタンを見つけられな
い」、「開くのが手間だから物理カードを使う」という声が多くあつた。利用者の声を踏まえ
て、令和3年10月に貸出カード表示ボタンをさらに上の階層に作成したことにより、トップペ
ージから2タップで表示ができるようになり、利用者の利便性が向上した。

令和4年度も継続して運用し、利用者の利便性向上に寄与した。

②利用者登録等Web申込

当館では市町立図書館等受取サービス（※）や電子図書館のサービスを提供しているが、ど
ちらの利用にも利用者登録が必須となっている。そのため、これまでは県内全域・場所を問わ
ないサービスを利用する場合でも、最初に郵送（送料は利用者負担）で登録手続きを行うか、
1度は当館に来館する必要があつたが、Web上で申込・利用者番号発行を受けられることで、
県内の遠隔地居住者が費用の負担や来館の手間をかけずに、当館のサービスを利用できるよう
になった。

令和3年度までは職員が日次で手作業にて登録・メール配信まで行っていたが、令和4年3

月にCSVインポート機能を実装後は電子申請サービスから出力したCSVデータを業務システムに流し込むことで登録・メール配信まで半自動的に実行できるようになった。

令和4年度は各県内学校（小中学校を除く）にクラス単位・学校単位での申込みの募集を行い、3校から申し込みがあった。

※市町立図書館等受取サービス：当館が所蔵している資料を、県内に点在している市町立図書館等の受取館で受け取れるサービス。利用者は費用負担無く、当館の資料を借りることができるが、利用には、当館の利用者登録が必須となる。

③電子図書館

令和3年度は収集する資料について、館内ワーキンググループで『「学習」「仕事」「QOLの向上」の3つをテーマとした、知識の拡充及び経験の補完を支援する資料を提供する』と、従来とは異なる収集方針を定め、各類別に購入資料を選書した。そのため、今までの当館では所蔵していないような資料が多くて良い、という意見があった。また、令和3年12月22日から令和4年1月6日にかけては、リクエストウィークと称して、利用者のニーズの調査を行いながら、利用増に向けた取組を行った。

令和4年度は令和3年度に定めた収集方針に基づいて全職員が電子書籍の選書に携わることとし、利用者の関心が低下することのないように、短い間隔で定期的に電子書籍の提供を行った。

現状では他の導入館と比べて資料数が少ないため、資料増を望む利用者の声が多い。

b レファレンス・サービスの充実

<目的・計画>

県民の調査研究や生活の中の疑問について参考となる資料の紹介や情報の提供等、迅速・正確なレファレンス・サービスに努める。

<実績>

○ 調査相談件数（単位：件数）

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 1月末時点現在
件数	4,432	4,906	4,181	6,722	5,821	3,930
うち静岡県関係	902	1,603	1,113	1,950	1,702	1,096
うち30分を越える調査	515	1,139	597	995	723	451

<評価（課題等）及び改善>

インターネットの利用等により、簡易な質問や所蔵調査が年々減少し、利用者の情報要求はより高度なものになっている。個々の利用者のみならず、市町立図書館に対する支援も含め、県内全体のレファレンス・サービスの向上に努め、利用者に満足していただけるよう担当職員のレファレンススキルの向上を目指した。

①令和3年度

レファレンス件数は5,821件で令和3年度より減少した。令和2年度から引き続き、質問形

式ではメールや電話の割合が多く、調査時間が1時間を超える高度な質問も多かった。これはコロナが未だ収束せず、外出・移動制限の状態が続くことにより、来館しての調査が困難となるとともに、調査内容がより詳細化したことが要因であると考えられる。

調査種別では、所蔵・所在調査が2,657件、書誌・文献・事実調査は3,164件となった。書誌・文献・事実調査の質問内容では、静岡県に関する質問が全体の29.2%であり、分類別では、多い順に2類（歴史・人物・地理）、7類（芸術・スポーツ）、0類（叢書・新聞）、3類（社会科学）となり、これらで全体の76.4%を占めた。

また、市町立図書館からの問い合わせは昨年度の1.5倍以上になった。理由としては、コロナによるステイホームや移動制限のため最寄りの市町立図書館で調べ物をする利用者が増えていることやコロナ対応からレファレンス研修を動画配信にしたことによって、多くの市町立図書館の職員研修の支援につなげることができたことが考えられる。

②令和4年度

令和5年1月末までのレファレンス総件数は3,930件で、令和3年度より減少する見込みである。

調査種別では、所蔵・所在調査が1,512件、書誌・文献・事実調査は2,418件となり、所蔵所在調査の件数の減少が著しい。書誌・文献・事実調査の質問内容では、静岡県に関する質問が全体の31.6%であり、分類別では、多い順に2類（歴史・人物・地理）、7類（芸術・スポーツ）、0類（叢書・新聞）、3類（社会科学）となり、これらで全体の72%を占めた。

質問形式ではメールの割合が増加しており、調査時間が1時間を超える高度な質問も多くあった。所蔵所在調査の件数の減少とも併せて考えると、インターネットの普及により、簡易な調査は利用者自身が行っていると考えられる。今後は、レファレンス事例登録やパスファインダーの充実など、自宅等で利用者自身が行う調査研究で活用できるような支援ツールの整備拡充の検討も必要である。

c 視聴覚活動の充実

<目的・計画>

静岡県視聴覚ライブラリーとして、社会教育施設や子ども園・学校等に役立つ資料を中心に整備し、利用に対応している。

<実績>

社会教育団体や学校での各種学習活動のためにビデオテープ、16mmフィルム等の貸出を行った。

○ 視聴覚ライブラリー資料の貸出数

(単位：点)

区分	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度 令和5年1月末日現在		
	社会 教育 関係	学校 教育 関係	計	社会 教育 関係	学校 教育 関係	計	社会 教育 関係	学校 教育 関係	計	社会 教育 関係	学校 教育 関係	計
16mm フィルム	42	4	46	20	6	26	37	10	47	25	13	38
ビデオテープ	3	0	3	0	0	0	2	0	2	0	0	0
DVD	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	0	0
合 計	45	4	49	20	6	26	42	10	52	25	13	38

※その他 (スライド・8mmフィルム・カセットテープ・CD等)

<評価 (課題等) 及び改善>

①令和3年度

個人で視聴できるメディアの発達等の社会情勢の変化に伴い、団体の利用は激減したが、各市町の公共視聴覚ライブラリーが閉鎖される中で、一部の社会教育団体が当ライブラリーの16mmフィルムを継続的に利用している。

しかし、資料のメンテナンスが行き届かず、各資料の経年劣化 (ビネガーシンドローム) が進行しているのが現状であり、静岡県関係資料については、徐々に媒体変換等を進めている。

また、今後の静岡県視聴覚ライブラリーのあり方についても検討が必要である。

②令和4年度

個人で視聴できるメディアの発達等の社会情勢の変化に伴い、団体の利用は激減したが、各市町の公共視聴覚ライブラリーが閉鎖される中で、一部の社会教育団体が当ライブラリーの16mmフィルムを継続的に利用している。

しかし、資料のメンテナンスが行き届かず、各資料の経年劣化 (ビネガーシンドローム) が進行しているのが現状であり、静岡県関係資料については、徐々に媒体変換等を進めている。

今後の視聴覚ライブラリーのあり方については、新館開館時に視聴覚ライブラリーの廃止を含めて検討している。

d 図書館の活性化

(a) 図書館講座「葵レク」等の開催

<目的・計画>

一般県民向け無料講座等を開催することで、「生涯学習の拠点」施設として、県民への学習機会の提供に努める。

<実績>

①講座・講演会等

講座名		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 令和5年1月末日現在	
		回数 (回)	人数 (人)	回数 (回)	人数 年度末の 再生回数	回数 (回)	人数 年度末の 再生回数	回数 (回)	人数 再生回数
i	図書館講座 「葵レク」	9	147	10	43人 3,752回	10	136人 3,252回	7	135人 1,264回
ii	子ども図書研究 室講演会	1	214	1	720回	1	1,010回	1	95人 466回
iii	上記以外の講演 会	3	599	2	100人	-	-	-	-
合	計(延べ)	13	960	13	143人 4,472回	11	136人 4,262回	8	230人 1,730回

令和4年度分内訳

i 図書館講座「葵レク」

No	開催日	名称	概要	人数 再生回数
1	6月24日(金) ～8月16日(火)	新刊サロン①	新着児童図書を語る会 YouTube 配信	520回
2	8月17日(水) 8月26日(金) ～10月18日(火)	新刊サロン②	新着児童図書を語る会 集合開催 YouTube 配信	5人 304回
3	10月19日(水) 10月28日(金) ～12月16日(金)	新刊サロン③	新着児童図書を語る会 集合開催 YouTube 配信	3人 440回
4	10月30日(日)	戦国時代の城址講座	徳川家康最大の危機	97人
5	11月5日(土)	オンラインデータベース活用講座	静岡新聞データベース plus 日経テレコン	11人
6	11月6日(日)	ロボットプログラミング教室	子ども向けプログラミング 教室	15人
7	12月17日(土) 12月27日(火) ～2月14日(火)	新刊サロン④	新着児童図書を語る会 集合開催 YouTube 配信	4人 配信中
8	2月15日(水) 2月24日(金) ～4月18日(火)	新刊サロン⑤(予定)	新着児童図書を語る会 集合開催 YouTube 配信	-
9	2月18日(土)	健康医療情報講演会(予定)	応急手当を学ぶ	-
10	2月23日(木・祝)	貴重書講座(予定)	『駿府風土記』の富士山 絵図	-

ii 子ども図書研究室講演会

No.	開催日	名称	概要	人数 再生回数
1	7月5日(火) 7月26日(火) ～9月2日(金)	言葉の発達、思考の発達を助ける絵本読みと読書	講師 今井むつみ 氏 集合開催 YouTube配信	95人 466回

② イベント・展示事業

i 図書館特別企画

(i) 夏休み子ども図書ウィーク 令和4年7月30日(土)～8月5日(金)

No.	開催日	名称	連携機関等	子どもの参加人数
1	7月30日(土) 7月31日(日)	親子ドローン体験教室	株式会社富士空撮サービス	3回計 24人
2	8月2日(火)	UD絵本手作り教室	静岡文化芸術大学	5人
3	8月3日(水)	折り紙遊び教室	静岡県読み聞かせネットワーク	7人
4	8月4日(木)	プログラミング教室	静岡県立島田商業高等学校	9人
5	8月5日(金)	ふじっぴーの親子グラフ教室	県データ活用推進課	5人

(ii) ブックフェスタしずおか 令和4年10月1日(土)～31日(月)

“本がひととまちを繋ぐ31日間”をテーマに一般社団法人トリナスが主催した当該イベントに全面協力した。

(iii) ふじのくに文化の丘フェスタ 令和4年10月18日(火)～11月6日(日)

令和4年度は新型コロナウイルス感染症が拡大する以前の形式で講座、講演会、展示等を実施した。

(iv) ヒガナンフェスティバル 令和4年11月3日(木・祝)

スポーツ・文化観光部企画政策課がグランシップ広場で実施した東静岡駅南口県有地活用実証実験に参加し、利用者登録や資料貸出のほか、電子図書館や新館移転について積極的な広報を行った。

(v) おもしろい人に会いたい!!2023 —アートプロジェクト見本市—

令和5年3月12日(日) 予定

アーツカウンスルしずおかが主催するアートプロジェクト見本市に参加し、利用者登録や資料貸出のほか、電子図書館や新館移転について積極的な広報を行う。

ii 館内企画展

(令和5年1月末日現在)

No.	期間	名称	連携機関等
1	3月8日(火) ～4月27日(水)	JICA海外協力隊写真展	独立行政法人国際協力機構(JICA) 中部センター
2	3月8日(火) ～4月27日(水)	さくら写真展	静岡県さくらの会
3	6月10日(金) ～7月6日(水)	堀内誠一展	長泉町民図書館
4	7月1日(金) ～8月14日(日)	あいのうた～出会いから子育てまでの短歌コンテスト～受賞作品展示会	県子ども未来課
5	7月20日(水) ～8月30日(火)	草薙神社龍勢花火展	草薙神社龍勢保存会
6	8月2日(火) ～8月28日(日)	統計グラフコンクール作品展	県データ活用推進課
7	8月16日(火) ～9月29日(木)	海洋プラスチックごみ防止6R県民運動展	県廃棄物リサイクル課
8	10月1日(土) ～10月30日(日)	歴史へのとびら～北条・徳川ゆかりの人々～	長泉町井上靖文学館
9	10月4日(火) ～11月6日(日)	静岡県の文化財保護—昭和53年近世社寺建築緊急調査—	県文書課

10	11月8日(火) ～12月4日(日)	犯罪被害者支援のための啓発展示	県くらし交通安全課
11	12月6日(火) ～1月15日(日)	静岡どぼくらぶパネル展	県建設政策課
12	1月28日(土) ～2月27日(月)	「写真週報」にみる昭和の戦争と静岡	館内企画
13	1月28日(土) ～3月19日(日)	模型で見るしずおかの建築物	静岡県立島田工業高等学校建築科
14	2月1日(水) ～2月27日(月)	静岡県立中央図書館・山梨県立図書館連携展示「ぐるり！富士山一周」	山梨県立図書館
15	3月7日(火) ～4月27日(木)	JICA海外協力隊写真展(予定)	独立行政法人国際協力機構(JICA)中部センター
16	3月7日(火) ～4月27日(木)	さくら写真展(予定)	静岡県さくらの会

<評価(課題等)及び改善>

① 令和3年度

令和2年度に引き続き、コロナの影響により、各種講座をオンラインで開催する機会が多くなった。こうした状況下で、「新刊サロン」は再生回数を稼ぐことのできるコンテンツに成長した。また、子ども図書研究室講演会の再生回数は1,000回を超え、事業自体の認知が高まっているといえる。今後もオンライン開催の可能性は残るため、見やすい動画作りや、魅力的な講演等を企画していきたい。

館内企画展は、地元団体(草薙神社龍勢保存会)との共催展示ができたことや、県の他部署と協力して実施したことを次年度以降も活かしていきたい。

② 令和4年度

コロナの影響も落ち着きを見せてきたことから、講座やイベント等を従来の集合形式で開催することが多くなった。しかしその一方で、ライブ配信やオンデマンド配信への要望も存在することから、今後は集合形式とオンデマンド等配信を合わせたハイブリット形式による開催の可能性についても検討していく必要があるものと思われる。

その他、他団体との協働イベントを積極的に行い、新館に関することや電子図書館事業など、新規で起こした事業の広報に努めた。

(b) 図書館サポーター活動の促進

<目的・計画>

自らの学習成果を社会に還元しようとする図書館サポーター(ボランティア)を積極的に受け入れ、生涯学習の場を提供するとともに県民参加による開かれた図書館作りを推進する。

<実績>

・読み聞かせサポーター

子どもコーナー「どんぐりひろば」において「おはなしかい」を開催し、絵本の読み聞か

せや手遊び、紙芝居等を行っている。令和3年度は、子どもコーナー「どんぐりひろば」を拠点に活動したが、コロナ禍での3密回避のため、「おはなしかい」は講堂で開催した。また、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言等の期間中は、「おはなしかい」を中止した。令和4年度は、子どもコーナー「どんぐりひろば」を拠点に活動したが、コロナ禍での3密回避のため、「おはなしかい」は参加人数が6組以上の場合は講堂で開催した。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
登録人数(人)	18	コロナ禍 のため休止	20	23
実施回数(回)	43		28	37
参加者数(人)	447		292	345
開催日	毎週木曜日の午前、第3日曜日の午前、不定期			

・環境・館内サービスサポーター

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
登録人数(人)	4	コロナ禍 のため休止	3	3
活動内容	・えほんのひろ ば装飾 ・呈茶サービス (2回)		コロナ禍のため休止 (登録のみ)	コロナ禍のため休止 (登録のみ)

<評価(課題等)及び改善>

平成27年度に図書館サポーター制度を導入し、読み聞かせのほか、環境サポーターや館内サービスサポーターを新設して、様々な分野で図書館が活性化するよう努めている。

令和3年度・令和4年度は、コロナ禍のため、読み聞かせサポーターの活動を休止せざるを得ない期間もあったが、活動場所を変えたり、参加者の発声を制限するなど安全に配慮し工夫して活動を継続した。呈茶サービス等はコロナ禍のため、サポーター活動を休止した。

ウ) 市町立図書館への支援

ア) 市町立図書館運営の支援・協力

<目的・計画>

県立中央図書館は、県全体の図書館サービスの向上を図るため、県内の市町立図書館の要請に応じて、図書館運営やサービスに関する助言や情報提供、協力レファレンスを行っている。

<実績>

(a) 運営相談

市町立図書館等から協力車訪問や電話等で相談を受け、図書館活動の振興に関わる様々な助言や情報交換を行った。相談内容は、政策決定に関するものや管理運営、デジタルトランスフォーメーションに関するものなど、多岐にわたっている。

○運営相談件数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
運営相談件数 (件)	262	406	406	298

①令和3年度

緊急事態宣言の発出に伴うサービスの制限や具体的な予防策など、コロナ対策に関する相談が多かった。このため、各館のサービス提供状況を調査し取りまとめたものを、おうだんくんシステムにより月1回の頻度で市町立図書館へ情報提供した。内容は利用者名簿の作成やイベント・おはなし会の開催状況等である。また、国や県からの情報についても、必要な情報の提供を心がけた。

②令和4年度

コロナ対策に関する相談は減り、通常の図書館運営に関する問い合わせが中心となった。各館のサービス提供状況も変化がみられなくなったため、令和2年2月から継続していた市町立図書館のサービス提供状況の提供を、10月をもって終了した。

また、コロナ禍や悪天候による協力車訪問の中止が増加していることからオンライン運営相談(Zoom)を試行した。令和4年8・10・11月の3回実施し、各館に広報も行ったが、いずれも参加する館はなかった。

なお、今年度から「公立図書館(室)への照会・回答」を始めた。令和4年度未解散予定の静岡県市立図書館協議会の事業を継承したもので、第1回は9件、第2回は14件の照会があった。

(b) 協力車の運行

市町立図書館(市立中央館24館、町立11館、専門図書館1館)への協力車の定期的運行を実施し、情報の交換及び収集、資料等の提供、事務連絡等を行い、各館との連携を図った。また、地域館・分館には10、11月を中心に全館訪問した(政令指定都市のみ原則3年に1回)。

相互貸借資料については当館が物流の拠点となり、協力車及び宅配便により搬送している。

○定期訪問回数

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
各コース訪問回数(回)	8	5～7	5～7	6
合計回数(回)	64	50	55	48
延べ日数(日)	72	56	61	54

①令和3年度

定期訪問は8コース（東遠・岳駿・中部・西遠・駿豆・伊豆・東部・中遠）を年8回訪問する計画だったが、悪天候により7月伊豆コースの一部館及び2月岳駿コースの訪問を中止した。また、緊急事態宣言中の9月の訪問を中止したほか、まん延防止等重点措置となった2月の賀茂地区図書館研修会が中止になったため、一部館のみ訪問した。また、地域館・分館42館に訪問した。

要請訪問は、清水町図書館協議会(7/16, 3/11)の委員として会議に出席し、助言や情報提供を行った。

②令和4年度

定期訪問は8コース（東遠・岳駿・中部・西遠・駿豆・伊豆・東部・中遠）を年8回訪問する計画だったが、令和5年1月末現在、悪天候やコロナ禍による訪問中止はなかった。また、地域館・分館40館に訪問した。

要請訪問は、伊東市教育委員会生涯学習課及び日本建築専門学校図書館に訪問し、助言や情報提供を行った。

(c) 協力レファレンス

市町立図書館に寄せられたレファレンスのうち、当該館で解決できない質問について、依頼に基づいて県立中央図書館が調査、回答する協力レファレンスを行っている。本館所蔵のレファレンスブックなどの各種資料やオンラインデータベース等を活用し、対応した。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
市立図書館	41	81	136	33
町立図書館	0	10	7	10
計	41	91	143	43

(d) 各市町立図書館が、県立中央図書館を利用する際の手引きとなる『図書館協力ハンドブック PLUM』及び県内各図書館の統計等をまとめた『静岡県の図書館』を毎年発行している。

<評価（課題等）及び改善>

市町立図書館からの多種多様な協力レファレンスや運営相談に的確・迅速に対応することで、市町立図書館及び県民の読書活動や調査相談活動の支援を行うことができた。

今後も、市町立図書館からの運営相談に対応するとともに、災害や社会情勢の変化に伴い必要となる情報の提供を行うなど、その時々によ請される支援を行う。

①令和3年度

月1回行った各館のサービス提供状況の調査と提供は、豊富な情報がサービス提供の参考

になると、多くの図書館から感謝の言葉をいただいた。一方で、コロナ禍や悪天候による協力車訪問の中止が増加している。このため、訪問によらない支援を検討する必要がある。

②令和4年度

訪問によらない支援のひとつとして、オンライン運営相談(Zoom)を3回試行したが、参加館はなかった。「公立図書館(室)への照会・回答」は、これまで全館一斉調査が難しかった町立図書館からの照会もあり、照会した館以外でも集約した情報を活用したいとの声が聞かれた。今後も、訪問によらない支援を検討したい。

b 職員研修

<目的・計画>

県内の図書館職員が、図書館職員として必要な知識の修得、資質の向上を図るため、初任者から館長等まで、各職位に対応する理論、実務の研修会を実施する。

<実績>

(a) 公立図書館等職員研修

研修名	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度 令和5年1月末日現在		
	回数 (回)	人数 (人)	回数 (回)	再生回数(回) または人数(人)	回数 (回)	再生回数(回) または人数(人)	回数 (回)	再生回数(回) または人数(人)	
基礎	図書館基礎研修	1	95	1	57人 資料配付	1	123人 集合(31人) Zoom(92人)	1	108人 Zoom
	おうだんくん基礎研修	3	73	1	882回 YouTube	1	330回 YouTube	1	220回 YouTube
	レファレンス基礎研修	4	93	1	1,036回 YouTube	1	21人 集合 397回 YouTube	4	92人
専門	図書館広報研修	1	27	地区別研修にて相当講義		1	24人	1	43人
	大学・専門図書館研修	1	27	地区別研修にて相当講義		1	23人 Zoom	1	20人
	図書館情報研修	1	29	-	-	-	-	1	33人 Zoom
	レファレンス応用研修	2	47	1	302回 YouTube	1	71回 YouTube	2	47人
	図書館サービス研修	1	71	地区別研修にて相当講義		1	48人	2	61人 ①:39人 ②:22人
	児童・青少年サービス研修	1	52	地区別研修にて相当講義		1	19人	1	38人
	資料保存研修	-	-	コロナ対応により中止		1	50人	-	-
運営	館長研修会	1	39	コロナ対応により中止		1	41人 Zoom	1	47人 Zoom
	図書館運営研修	1	22	地区別研修にて相当講義		1	32人	1	26人
特別	図書館情報交換会	3	51	2 (1)	23人 Zoom (10) (内 試行)	1 1	14人 集合(中部) 18人 Zoom	2 1	11人 集合 12人 Zoom
合計		20	626	6	2,220回 80人	14	798回 413人	19	220回 538人

(b) レファレンス出前研修

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
回数 (回)	6	5 (うち1回オンライン)	5 (うち1回オンライン)	4 (2月に3回予定)
参加者数 (人)	151	139	75	47

(c) 子ども図書研究室講師派遣

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度 令和5年1月末日現在
回数 (回)	9	5 (うち1回オンデマンド配信)	5 (うち2回オンライン)	5
参加者数 (人)	252	99	110	146

<評価（課題等）及び改善>

(a) 公立図書館等職員研修

①令和3年度

コロナ禍において最大限研修が実施できるよう集合型、集合とオンライン併用のハイブリッド型、オンデマンド配信等、様々な方法で研修を実施した。コロナ拡大時期の研修については、開催方法の変更や日程変更により対応した結果、中止となったのは東部及び西部の市立図書館を会場とする図書館情報交換会のみにとどまり、それ以外の研修は実施できた。

実習やグループワーク等、オンラインでは難しい性質の研修もあるが、オンラインと親和性の高い研修については、市町立図書館の予算や人員の削減の中でも研修へ参加しやすくなるため、適宜活用していく。

②令和4年度

コロナ禍において効果的に研修が実施できるよう集合型、オンライン、オンデマンド配信等、様々な方法で研修を実施した。令和4年度は計画した全ての研修が当初の予定どおり実施できた。

オンラインと親和性の高い講義のみの研修や4月当初に行う参加者が多い研修については、市町立図書館の予算や人員の削減の中でも研修へ参加しやすくなるため、オンライン研修を基本として実施した。集合型研修の際は、実習やグループワーク等、集合型研修ならではのメニューを積極的に取り入れオンライン研修との棲み分けを図った。今後も時流に即した研修の形態を模索し、県内図書館職員の資質向上を強力に支援する。

(b) レファレンス出前研修と(c) 子ども図書研究室講師派遣

職員向けレファレンス研修へ講師を派遣してほしいという市町立図書館からの要望に応えるため、平成22年度から「レファレンス概論」や「図書館サービスと著作権」「参考図書での調査」「データベースを使った調査」などのテーマを設定し、市町立図書館が希望する内容を選択する「出前研修」を開始した。コロナ禍においてもできるだけ実現ができる方法を受講者側と調整し、令和3年度は5回実施し、うち1回はZoomによるオンライン形式である。令和4年度は1月末までに4回実施し、2月に3回実施予定である。

また、「子ども図書研究室講師派遣事業」は平成30年度の試行実施が好評であり、市町立図書館等からも事業の継続要望が強かったため、令和元年度から本格的に実施している。コロナ禍においてもできるだけ実現ができる方法を受講者側と調整し、令和3年度は5回実施し、うち2回はZoomによるオンライン形式である。令和4年度は1月末までに集合型で5回実施した。

今後も、市町立図書館を支援するため継続して実施していく。

c 図書館活動の振興・奨励

<目的・計画>

県立中央図書館は、図書館未設置町に対して、住民に対して適切な図書館サービスを行うことができるよう、公立図書館設置の働きかけや設置に関する助言を行う。

また、様々な機会を捉えて、生涯学習の拠点としての図書館の意義を県民に周知する。

<実績>

(a) 条例未制定町訪問

令和5年1月末現在、県内の図書館設置条例未制定町は川根本町の1町である。

①令和3年度

8月3日に川根本町山村開発センター図書室を訪問し、書庫スペースの狭隘化に対応するため資料の除籍に関する運営相談に対応した。2回目（1月28日）の訪問はまん延防止等重点措置が適用されたため中止となり、メールやZoom等、直接訪問によらない運営相談に切り替えた。川根本町教育委員会への図書館設置に関する訪問については、町の意向により訪問を中止した。

②令和4年度

9月29日に川根本町文化会館図書室を訪問する予定であったが、台風15号の影響により川根本町までの道路が一部被災したため、オンライン(Zoom)により運営相談に対応した。1月27日には川根本町教育長及び社会教育課長に面会し、図書館類縁機関と条例設置図書館との比較について重点的に説明を行うとともに、図書館設置に関する町の状況を伺った。

(b) 静岡県図書館大会

本大会は、静岡県教育委員会、静岡県図書館協会、静岡県読書推進運動協議会の共催による。県単位としては全国でも最大規模の図書館大会である。

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
期 日	11月18日	(11月16日)	11月8日～10日 12月12日～1月11日	集合：11月21日 オンライン：11月28日
参加者数(人)	953	中止	1,463(累計)	699(累計)

①令和3年度

コロナ感染動向が見通せないことや集合開催による感染リスクを避けるため、当館を主会場としてオンラインにて開催した。静岡県図書館協会の契約したZoomウェビナーには人数制限(500人)があるため、一般参加者を募らず、静岡県図書館協会加盟館、学校、教育委員会のみに限定して参加者を募集した。また、各市町立図書館には、サテライト会場を設置してもらうよう依頼した。なお、大学図書館の分科会は実施せず、例年は二つ設置している図書館サービスの分科会を一つとし、4分科会で構成した

令和3年度 静岡県図書館大会（第28回）

期日等	令和3年11月8日（月）から10日（水）：オンライン（Zoomウェビナー） 令和3年12月12日（日）から令和4年1月11日（火）：YouTube録画限定配信
会場	静岡県立中央図書館、県内市町立図書館
参加人数	1,463人（累計）
内容	全体会「コロナ禍の図書館と今後の図書館」 ・情勢報告、講演：日本図書館協会理事長 植松 貞夫 氏 ・事例発表：三島市立図書館、沼津市立図書館、静岡市立中央図書館 分科会：「図書館の接遇」、「絵本と鳥の巣の不思議」、「絵本から一人読みへのステップアップ」、「学校図書館とエンタメ小説」の4分科会を実施

②令和4年度

コロナ感染症拡大防止対策を行った上で3年ぶりに集合開催した。第5分科会（大学図書館）のみ、別日程でオンラインにより開催した。なお、図書館大会運営委員が充足しなかったため、例年は二つ設置している図書館サービスの分科会を一つとし、5分科会で構成した。なお、講師の許諾が得られた講演については撮影をしており、今後YouTube限定配信を行う方向で調整を進めている。

令和4年度 静岡県図書館大会（第29回）

期日・会場及び参加人数	令和4年11月21日 会場：グランシップ 参加人数667人 令和4年11月28日 オンライン（Zoom） 静岡県立中央図書館 参加人数32人
内容	全体会「図書館職員の意識からサービス向上を考える」 分科会：「図書館のSNS活用～利用者に興味を持ってもらえる、図書館にとってベストな広報とは？～」、「一つの作品ができるまで～文芸編集者の作家伴走法～」、「科学絵本は楽しい！「かがくのとも」の作り方」、「本の読み方を学ぼう～点検読書をやってみよう～」、「大学図書館の継続的サービス提供～勤務体制に左右されない環境構築～」の5分科会を実施

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

条例未制定の川根本町は、平成27年度末の各図書室への職員配置から6年が経過した。訪問による運営相談を繰り返し実施することにより、図書室機能が徐々に充実している。コロナ禍を理由に中止している川根本町教育委員会への図書館設置に関する訪問については、先方の意向を尊重するが、実施する方向で調整していきたい。

図書館大会は初めてのオンライン開催となったが、遠方でも参加しやすいことや業務の合間に参加できること、複数の分科会に参加できることなどのメリットが参加者からは多くあげられた。しかし、講師に実際にお会いできる点、質疑のしやすさ、参加者同士の交流など面から、集合での開催を望む声もある。経験を蓄積できたため、令和4年度以降は集合型でもオンラインでも開催可能である。利点や欠点を踏まえつつ、静岡県図書館協会と協議しながらよりよい方法を選択したい。

②令和4年度

条例未制定の川根本町教育委員会への図書館設置に関する訪問を再開し、教育長や担当課長から現状を伺うことができた。今後も町からの相談があれば積極的に対応していきたい。

図書館大会は経験の蓄積があったため、集合開催・オンライン開催ともに円滑な運営を行うことができ、参加者の満足度も高かった。令和5年度は第30回記念大会であることや、国のイベント開催の考え方が大きく変化したことにより、集合開催は多くの参加者が見込まれる。静岡県図書館協会及び静岡県読書推進運動協議会と協議しながら準備を進めていきたい。

(I) 関係機関・関係団体との連携・協力

<目的・計画>

関係機関・関係団体と連携・協力して、静岡県図書館大会や図書館職員研修会等を開催し、図書館活動の振興や読書活動の発展等に努める。

<実績>

a 大学・専門図書館との連携

宅配による県立中央図書館資料（協力貸出）の搬送を実施した。また、静岡県図書館協会と共催して研修を行った。

b 静岡県図書館協会（令和5年1月末現在 加盟館126館）

県内図書館の連携を図り、情報交換とともに各図書館の振興を図った。

（事業内容）

①静岡県図書館大会（共催）

令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、オンラインで開催した。令和4年度は3年ぶりに集合型で開催した（一部オンライン開催を含む）。

②市町立図書館等職員対象の研修（共催）

すべての研修を県教育委員会と共催して実施している。令和3年度は集合型、集合とオンライン併用のハイブリッド型、オンデマンド配信等、様々な方法で研修を実施した（中止となったのは東部及び西部の市立図書館を会場とする図書館情報交換会のみ）。令和4年度は各研修の特性を鑑みたうえで集合型もしくはオンライン配信等の開催方法を選択し、全研修を実施した。

③『静岡県図書館協会加盟館職員名簿』発行

④『静岡県図書館協会会報』発行（年2回）

c 静岡県読書推進運動協議会

県内優良読書グループを表彰するなど、県民の読書活動の推進を図った。

（事業内容）

①『読書活動だより』の発行（年1回）

②静岡県図書館大会（共催）

③講演会等（参考）

下記dの講演会は、静岡県読み聞かせネットワークと当協議会との共催事業である。

d 静岡県読み聞かせネットワーク

県内の読み聞かせ関連の団体・グループや関連機関と相互に連携を図りながら、地域における読み聞かせ団体の奨励・支援を行った。

①講演会等（参考）

	令和3年度	令和4年度
開催日	令和4年2月20日（日）	令和4年10月29日（土）
会場	静岡県立中央図書館会議室	静岡県立中央図書館講堂
定員	50人	130人
演題	「読み聞かせと学校図書館」	「耳をすます」～子どもと本の架け橋として～
講師	本田彰氏	斎藤惇夫氏
備考	当館の”まん延防止等重点措置期間中に主催事業を集合では行わない”という方針により、共催を見送った。	当館共催

e 浙江省図書館との交流

平成21年2月に浙江省教育交流訪日団の来静を機に締結した「静岡県立中央図書館と浙江省図書館との友好提携」による交流事業を行った。

事業内容	令和3年度	令和4年度
図書交換	寄贈30冊、受贈32冊＋3誌	寄贈30冊、受贈35冊＋3誌

f ムセイオン静岡

県立中央図書館と県立美術館、静岡県埋蔵文化財センター、県立大学、グランシップ、県舞台芸術センター（SPAC）、ふじのくに地球環境史ミュージアムの7機関で、「ムセイオン静岡」として連携事業を行った。

区分	令和3年度	令和4年度
共通イベント	「ふじのくに文化の丘フェスタ2021」 （10月19日～11月7日）	「ふじのくに文化の丘フェスタ2022」 （10月18日～11月6日）
各機関実施事業での連携協力（当館実施事業のみ）	・ムセイオンクイズ2021（10月8日～11月8日）	・文化の丘スタンプラリー（10月18日～11月6日）

g 山梨県立図書館との連携協定

富士山の文化振興に貢献することを目的に平成27年6月に締結した「山梨県立図書館と静岡県立中央図書館との富士山関係資料に関する連携協定」による連携事業を行った。

事業内容	令和3年度	令和4年度
連携推進協議会	2回 オンライン開催 （7月1日、2月4日）	2回 7月12日（静岡で開催） 2月22日（山梨で開催予定）
富士山関係資料の相互利用による企画展示	中部横断自動車道山梨静岡間全線開通記念連携展示「山梨・静岡がもっと身近に！」 静岡県立中央図書館 （2月1日～2月27日） 山梨県立図書館 （2月18日～3月13日）	中部横断自動車道山梨静岡間全線開通による富士山を囲む広域周遊観光ルートの形成「ぐるり！富士山一周」 静岡県立中央図書館 （2月1日～2月27日） 山梨県立図書館 （2月17日～3月12日予定）

<評価（課題等）及び改善>

a 令和3年度

公共図書館職員を対象とした研修では、静岡県教育委員会と静岡県図書館協会の共催により、充実した研修を行うことができた。令和3年度は令和2年度に引き続いてコロナ禍の中でもオンライン等により効果的な研修を行うことができた。

しかし、静岡県読書推進運動協議会や静岡県読み聞かせネットワークとはこれまで継続してきた協同を維持できない事業もあった。コロナ禍における当館の事業実施方針と両団体の方針が一致しないことによるもので、やむを得ない判断だった。

b 令和4年度

公共図書館職員を対象とした研修では、静岡県教育委員会と静岡県図書館協会の共催により、充実した研修を行うことができた。特に、令和2年度～令和3年度のコロナ禍の中でノウハウが培われたオンライン配信の利点も生かして、各研修の特性に応じた効果的な開催方法をとることができた。また、「読書県しずおか」づくりを目指して、静岡県読書推進運動協議会や静岡県読み聞かせネットワーク等との協働を継続した。

㊦ 新館整備の検討

<目的・計画>

新図書館の全面移転について、社会教育課等と連携し、基本構想・基本計画及び管理運営計画等に基づく新館整備に関する作業を支援する。職員間で様々な情報を共有して、新館づくりに積極的にに関わり、多くの人が心から待ち望む県立図書館づくりに取り組む。

なお、令和元年度までは文化力の拠点施設内への移転予定であったが、元年度末に単独整備することに決まった。

<実績>

①令和3年度

- ・新館整備に向けて社会教育課と連携した情報共有のための研修を3回実施した。
- ・当館の社会教育課兼務職員（新館整備のために9人の当館在籍職員が社会教育課と兼務して対応）が中心となり、新館に関するワーキングを18回（書面による意見集約を含む）実施し、積極的な提案を行った。
- ・管理運営計画に基づく新館移転に係る諸作業の洗い出しを職員全員で行い、ロードマップ検討チームの会議を4回開催したうえで、新館移転ロードマップを作成した。
- ・新県立中央図書館整備事業設計業務委託に係る公募型プロポーザルの応募検討者及び審査委員に対して、現県立中央図書館の見学会を実施した。
- ・コロナ禍の中、他県の先進図書館への視察調査は実現できないことが多かったが、当館単独又は社会教育課と共同の先進図書館視察調査を2回（角川武蔵野ミュージアム、福井県立図書館及び岐阜県立図書館等）実施し、延べ6人が参加した。

②令和4年度

- ・新館整備に向けて社会教育課と連携した情報共有のための研修を1回、社会教育課及び新県立中央図書館整備事業設計業務委託受注者と連携したワークショップを3回実施した。
- ・当館の社会教育課兼務職員（新館整備のために6人の当館在籍職員が社会教育課と兼務して対応）が中心となり、新館に関するワーキングを8回実施し、積極的な提案を行った。
- ・昨年度作成した新館移転ロードマップをもとに、職員全員が分担してサービス計画概要書を作成した。
- ・新県立中央図書館整備事業設計業務委託受注者に対して、現県立中央図書館の見学会を実施した。
- ・新館整備に資するため、当館単独又は社会教育課と共同の先進図書館視察調査を7回（石川県立図書館、豊橋市まちなか図書館、札幌市図書・情報館等）実施し、延べ15人が参加した。
- ・大阪府立中央図書館に実務研修として職員1人を1か月派遣した。

<評価（課題等）及び改善>

- ・新県立図書館整備について、引き続き、計画に従って移転新築が行なわれるよう調整していく。
- ・県民に役立つ図書館を目指して図書館の意向が適切に反映されるよう、アフターコロナ時代のDX化も踏まえて、より具体的なフェーズを積極的に支援していく。

（カ）静岡県立中央図書館協議会の開催

<目的・計画>

図書館協議会は、図書館の運営に関し、館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関である。（図書館法第14条）

図書館協議会委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う方並びに学識経験のある方たちに、専門的な立場から図書館運営に関する意見をいただく。

（図書館法第16条、図書館法施行規則第12条等）

図書館協議会の開催により、地域の実情を踏まえ、利用者及び住民の要望を十分に反映した図書館運営を行うように努める。（図書館の設置及び運営上の望ましい基準）

<実績>

a 開催状況

年度	第 1 回	第 2 回
令和3年度	令和3年6月23日(水)	令和4年2月24日(金)
令和4年度	令和4年6月8日(水)	令和5年2月16日(木)

b 主な協議事項等

①令和3年度

（第1回）

- ・令和3年度の重点取組について
- ・各課の業務紹介と令和3年度重点施策について
- ・新県立中央図書館の整備について（新県立中央図書館整備計画等）
- ・県立中央図書館DX化2021

（第2回）

- ・県立中央図書館の状況について（図書館DX、新たな主な取組等、コロナ感染症対策、3年度アンケート結果等）
- ・令和3年度重点取組・重点施策の評価について
- ・令和4年度の基本方針と重点取組について
- ・新県立中央図書館の整備について（公募型プロポーザル等）

②令和4年度

（第1回）

- ・県立中央図書館の状況及び令和4年度主要施策について
- ・令和4年度各班等重点取組について
- ・新県立図書館の整備について（施設整備のコンセプト、整備内容、概算事業費、整備スケジュール、設計者公募の結果等）

（第2回）（予定）

- ・県立中央図書館の状況について（図書館DXの推進、イベント及び連携事業、静岡県図書館大会等）
- ・令和4年度主要施策・重点取組の評価について
- ・令和5年度の基本方針と主要施策について
- ・新県立中央図書館の整備について

<評価（課題等）及び改善>

①令和3年度

第1回目は、集合とオンライン参加の併用で開催し、当館の業務を御理解いただくとともに、それらに対する好評価や意見を聴取できた。

第2回目は、コロナ感染症の状況から、会長を除き、オンライン開催した。当館の重点取組と重点施策に対して外部評価をいただくとともに、各委員からは、電子図書館、レファレンス、子ども図書研究室等貴重な意見を聴取でき、今後の参考となった。

②令和4年度

第1回目は、集合とオンライン参加の併用で開催した。当館の業務を御理解いただくとともに、それらに対する意見を聴取できた。特に電子書籍と紙書籍の今後の動向について、新県立中央図書館について活発な議論と幅広い意見を聴取でき、今後の当館の運営等の参考とすることができた。

第2回目は、集合とオンライン参加の併用で開催し、当館の主要施策と重点取組に対して外部評価をいただく予定である。

事業の根拠法令調

事業名	根 拠 法 令
静岡県立中央図書館 事業	<p>教育基本法（第12条）</p> <p>社会教育法（第3条、第6条、第9条）</p> <p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第30条、第31条）</p> <p>図書館法（第1条～第4条、第7条～第10条、第13条～第17条）</p> <p>子どもの読書活動の推進に関する法律（第2条、第4条、第7条、第9条、第10条）</p> <p>文字・活字文化振興法（第5条～第7条）</p> <p>視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律（第9条、第10条、第14条、第15条、第17条）</p> <p>図書館の設置及び運営上の望ましい基準</p> <p>静岡県文化センター設置条例 静岡県文化センターの運営に関する規則</p> <p>静岡県文化センター使用料条例 静岡県文化センター使用料条例施行規則</p> <p>静岡県教育委員会組織規則</p> <p>静岡県立中央図書館協議会条例 静岡県立中央図書館協議会の運営に関する規則</p> <p>静岡県子ども読書活動推進計画</p>

職 員 調

(令和5年4月1日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	館長	柴 雅房	総括	□□□□	□□□□	□□□□
2	副館長兼総務課長	山内小百合	総括補助・運営調整	□□□□	□□□□	□□□□
3	総務班長	遠藤 一穂	総務班総括・施設・管財	□□□□	□□□□	□□□□
4	主査	真野 聡	会計・管財	□□□□	□□□□	□□□□
5	主査	井出 幸大	人事サービス・給与・会計	□□□□	□□□□	□□□□
6	主事	石黒 愛梨	報酬・福利厚生・会計	□□□□	□□□□	□□□□
7	主任	松村 裕理		□□□□	□□□□	□□□□
8	企画振興課長	田辺 章	企画振興課総括	□□□□	□□□□	
9	企画班長	青木 修	企画班総括	□□□□	□□□□	□□□□
10	主査	佐野佳代子	研修	□□□□	□□□□	
11	主査	杉山みつ江	広報	□□□□	□□□□	
12	主事	花村 拓海	図書館システム	□□□□	□□□□	
13	振興班長	青山 滋乃	振興班総括	□□□□	□□□□	□□□□
14	主査	宮原 織絵	市町立図書館等の振興	□□□□	□□□□	□□□□
15	主任	殿岡 容子	市町立図書館等の振興	□□□□	□□□□	□□□□
16	資料課長	木村 知美	資料課総括	□□□□	□□□□	□□□□
17	図書班長	三枝 春奈	図書班総括	□□□□	□□□□	□□□□
18	主任	山下 紗織	児童資料	□□□□	□□□□	□□□□
19	主任	眞子 みな	視聴覚資料、寄贈図書、図書管理	□□□□	□□□□	□□□□
20	主事	上村まりを	寄贈図書、図書管理	□□□□	□□□□	□□□□
21	技能員	加藤 桂子	資料受入・整理等補助	□□□□	□□□□	
22	新聞雑誌班長	田中 理一	新聞雑誌班総括	□□□□	□□□□	
23	主査	竹本 千春	逐次刊行物の目録、システム	□□□□	□□□□	□□□□
24	主査	安田 宏美	逐次刊行物の目録、新聞管理	□□□□	□□□□	□□□□
25	調査課長兼一般調査班長	鈴木 由美	調査課総括	□□□□	□□□□	□□□□
26	主査	児玉 匡史	一般調査班総括	□□□□	□□□□	□□□□
27	教育主査	西澤 健太	調査相談・オンラインDB	□□□□	□□□□	
28	教育主査	土屋 祐加	調査相談・統計・研修・障害者サービス	□□□□	□□□□	
29	主任	原島 勇太	調査相談、研修、ツール整備	□□□□	□□□□	□□□□
30	地域調査班長	八木 麻美	地域調査班総括	□□□□	□□□□	□□□□
31	教育主査	山本加奈恵	地域資料収集・整理・教科書	□□□□	□□□□	□□□□
32	主任	前林 真美	地域資料収集・整理、電算	□□□□	□□□□	□□□□
33	主事	山中 菜緒	地域資料収集・整理・統計	□□□□	□□□□	□□□□
34	教育主幹	望月 克洋	歴史資料保存・公開	□□□□	□□□□	
35	主任	飯塚 晴夫	歴史資料保存・公開	□□□□	□□□□	□□□□
36	主任	大林 元	歴史資料保存・公開	□□□□	□□□□	
平均年数					2年9月	

会計年度任用職員

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	会計年度任用職員	赤沼江美子	総務・企画・配架等補助	□□□□	□□□□	
2	会計年度任用職員	伊藤勢津子	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
3	会計年度任用職員	近藤 昌子	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
4	会計年度任用職員	三原 葉子	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
5	会計年度任用職員	大久保 浩	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
6	会計年度任用職員	飯塚 享子	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
7	会計年度任用職員	山崎 康平	資料受入・配架等補助	□□□□	□□□□	
8	会計年度任用職員	山崎あずさ	子ども図書研究室補助	□□□□	□□□□	
9	会計年度任用職員	高田 明美	図書等貸出・返却等	□□□□	□□□□	
10	会計年度任用職員	野沢佳奈子	図書等貸出・返却等	□□□□	□□□□	
11	会計年度任用職員	大橋 恭子	図書等貸出・返却等	□□□□	□□□□	
12	会計年度任用職員	林 春絵	歴史資料保存・公開	□□□□	□□□□	

職員の年齢調

(令和5年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0 人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	9	
40歳以上50歳未満	13	
50歳以上56歳未満	7	
56歳以上61歳未満	3	うち再任用1人
61歳以上	1	うち再任用1人
計	36	平均年齢 43.4歳

健 康 管 理

1 令和4年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 37人
	職員数 37人
受 診 率	100.0%
県平均受診率	100.0%

(1) 未受診の理由

妊娠・産休中 名
産休・育休中 名

2 令和5年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分		人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。	人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療 人
B 2		要経過観察 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っていてよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療 人
C 2		要経過観察 人
D 1	平常の勤務でよい。	(6) 6人
D 2		(10) 10人
D 3		(18) 18人
区 分 者 計		(34) 34人
未区分者数		(2) 2人
合 計		(36) 36人

(1) 管理区分A～C 2該当者
に対する措置状況

(2) 未区分の理由

ア 産休・育休 人
イ 新規採用 2人
ウ 自己都合による未受診 人
エ その他

職 員 配 置 調

(令和5年4月1日現在)

区 分	総務課	企画振興課	資料課	調査課		計	
				歴史文化情報センター			
所 在 地	静岡市駿河区谷田 53-1				静岡市葵区 追手町 9-18		
担当地区	県 内 全 域						
配 置 職 員	館 長	1					1
	副館長兼総務課長	1					1
	課 長		1	1			2
	課長兼班長				1		1
	班 長	1	2	2	1		6
	班 長 代 理						
	教 育 主 幹					1	1
	教 育 主 査				3		3
	主 査	2	3	2	1		8
	主 任	1	1	2	2	2	8
	主 事	1	1	1	1		4
	技 能 員			1			1
	会計年度任用職員	(1)		(8)	(2)	(1)	(12)
	計	7 (1)	8	9 (8)	9 (2)	3 (1)	36 (12)

預 金 調

(令和5年1月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘 要
静岡銀行草薙支店	無利息型 普通預金	0019935	県立中央図書館 資金前渡者 館長 柴 雅房	0	職員給与等の 資金前渡口座
静岡銀行草薙支店	無利息型 普通預金	0385301	(自振口) 県立中央図書館 資金前渡者 館長 柴 雅房	0	光熱水費、 電話料金の 引き落とし口座
残 高 合 計				0	

郵 券 等 受 払 調

(令和4年1月31日現在)
(単位：枚、円)

区 分	種 類	令 和 2 年 度						令 和 3 年 度						摘 要		
		繰 越		受 入		払 出		繰 越		受 入		払 出			差引現在高	
		枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額	枚数	金 額		枚数	金 額
郵券	120円券	42	5,040	0	0	31	3,720	11	1,320	30	3,600	37	4,440	4	480	〃
	84円券	1	84	0	0	1	84	0	0	0	0	0	0	0	0	〃
	82円券	76	6,232	0	0	57	4,674	19	1,558	0	0	15	1,230	4	328	〃
	63円券	1	63	0	0	0	0	1	63	0	0	1	63	0	0	〃
	50円券	1	50	0	0	1	50	0	0	0	0	0	0	0	0	〃
	10円券	65	650	0	0	16	160	49	490	0	0	17	170	32	320	〃
	5円券	10	50	0	0	0	0	10	50	0	0	1	5	9	45	〃
	2円券	83	166	0	0	57	114	26	52	0	0	23	46	3	6	〃
	レターバックプラス (520円券)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	520	1	520	0	0	〃
	レターバックライト (370円券)	2	740	19	7,030	21	7,770	0	0	6	2,220	6	2,220	0	0	〃
計		/	13,075	/	7,030	/	16,572	/	3,533	/	6,340	/	8,694	/	1,179	
有料道路回数券	200円券	0	0	33	6,600	28	5,600	5	1,000	33	6,600	17	3,400	21	4,200	公用車出張用
計		/	0	/	6,600	/	5,600	/	1,000	/	6,600	/	3,400	/	4,200	
図書カード	1,000円券	25	25,000	0	0	10	10,000	15	15,000	0	0	10	10,000	5	5,000	副賞用
計		/	25,000	/	0	/	10,000	/	15,000	/	0	/	10,000	/	5,000	

委 託 料 等 歳 出 予 算 執 行 状 況 節 別 集 計 表

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					令和2年度	令和3年度	左のうち元年度からの繰越額分
(12) 委託料	01一般会計	02知事直轄組織費	01知事直轄組織費	08デジタル戦略費		6,768,300	
	01一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費		3,431,890	
	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費		16,211,024	
	01一般会計	06スポーツ・文化観光費	03文化費	02文化財費		56,100	
計					20,077,642	26,467,314	
(14) 工事 請負費							
計					0	0	
(16) 公有財産 購入費							
計					0	0	
(17) 備品 購入費	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費		41,691,966	
計					54,133,546	41,691,966	
(18) 負担金、 補助及び 交付金	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費		390,680	
計					417,080	390,680	
(21) 補償、補填 及び賠償金							
計					0	0	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和5年1月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、3年度からの繰越額分
(12) 委託料	01一般会計	11教育費	02教育委員会費	03教育管理費	0	0
	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費	10,088,925	0
計					10,088,925	0
(14) 工事 請負費	01一般会計	02知事直轄組織費	01知事直轄組織費	08デジタル戦略費	0	0
計					0	0
(16) 公有財産 購入費						
計					0	0
(17) 備品 購入費	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費	27,327,718	0
計					27,327,718	0
(18) 負担金、 補助及び 交付金	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費	471,000	0
計					471,000	0
(21) 補償、補填 及び賠償金	01一般会計	11教育費	09社会教育費	02図書館費	479	0
計					479	0

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
			円	円	円	円				円		
14	(事務関係)利用者バーコード表示リンク追加業務委託	NECソリューションイノベータ(株)	511,500	511,500	0	511,500	随契	3.11.1 ～ 3.11.30	3.12.10	511,500	スマートフォンOPACメニューの改修	随契2号(不適)
15	自動扉(フック)入口)保守点検業務委託	中日本オート・ドア(株)	26,400	26,400	0	26,400	随契	3.10.1 ～ 4.9.30	4.3.31 4.4.28	6,600 6,600	ブラウジング入口の自動扉保守点検 N1台	R3長期随契1号(少額)
16	旧埋文消防設備保守点検業務委託	(株)弥生設備商会	95,700	95,700	0	95,700	随契	3.10.1 ～ 4.9.30	4.4.28	56,100	旧埋蔵文化財センターの消防設備保守点検	R3長期随契1号(少額)
17	PDF収集システム開発業務委託	(株)ジオロケーションテクノロジー	927,300	927,300	0	927,300	随契	3.8.31 ～ 4.2.28	4.4.28	927,300	PDF収集管理業務の自動化	随契1号(少額)
18	文化の丘フェスタ広報業務委託	(一社)草薙カルテッド	19,800	19,800	0	19,800	随契	3.9.9 ～ 3.11.30	4.2.28	19,800	中央図書館主催イベントの広報業務	随契1号(少額)
19	ボイラー設備保守点検業務委託	(株)セリオ	330,000	330,000	0	330,000	随契	3.11.12 ～ 4.4.30	4.2.28	154,000	ボイラー設備保守点検 N2基	R3長期随契1号(少額)
20	デジタルライブラリーユーザー一括登録作業業務	NECソリューションイノベータ(株)	1,452,000	1,452,000	0	1,452,000	随契	3.12.16 ～ 4.3.31	4.4.28	1,452,000	デジタル化した貴重資料のデジタルライブラリーシステムへの一括登録	随契2号(不適)
21	電子申請利用者データ一括登録業務委託	NECソリューションイノベータ(株)	5,214,000	5,214,000	0	5,214,000	随契	3.12.17 ～ 4.3.31	4.4.28	5,214,000	電子申請サービスによる申請者データの図書館業務システムへの反映	随契2号(不適)
22	デジタル化事業業務委託	(株)工業複写センター	画像スキャン* 70円/ショット 150円/ショット 1,500円/ショット ファイル変換費 25円/ショット 画像接合費 250円/件 1,000円/件 フィルム撮影 95円/コマ 150円/コマ マスター作成 15円/件 媒体費用 120,000円	画像スキャン* 68円/ショット 140円/ショット 1,500円/ショット ファイル変換費 25円/ショット 画像接合費 250円/件 1,000円/件 フィルム撮影 95円/コマ 140円/コマ マスター作成 13円/件 媒体費用 120,000円	0	画像スキャン* 68円/ショット 140円/ショット 1,500円/ショット ファイル変換費 25円/ショット 画像接合費 250円/件 1,000円/件 フィルム撮影 95円/コマ 140円/コマ マスター作成 13円/件 媒体費用 120,000円	一般	4.1.8 ～ 4.3.25	4.4.15 4.4.15	428,764 2,525,500	貴重資料等のデジタル画像作成	単価契約
23	旧埋蔵文化財センター跡地付近フェンス際樹木剪定等作業業務委託	(株)小林土木緑化	539,000	539,000	0	539,000	随契	4.1.12 ～ 4.3.18	4.4.19	539,000	旧埋蔵文化財センター周辺の樹木剪定及び樹木管理に係る報告書作成	随契1号(少額)
24	地域貴重資料劣化度調査業務委託	(株)資料保存器材	2,996,422	2,910,490	0	2,910,490	一般	4.1.27 ～ 4.3.30	4.4.28	2,910,490	地域貴重資料の保存状況確認及び報告書作成	
25	旧埋蔵文化センター案内柱撤去処分	(株)荒井産業	56,100	56,100	0	56,100	随契	4.2.18 ～ 4.3.31	4.4.28	56,100	旧埋蔵文化財センターの案内柱撤去処分	随契1号(少額)
26	産業廃棄物(蛍光管)収集運搬処分	(株)ホクセイ	22,660	22,660	0	22,660	随契	4.2.7 ～ 4.3.30	4.3.31	22,660	産業廃棄物(蛍光管類)収集運搬処分	随契1号(少額)
27	産業廃棄物収集運搬	株式会社荒井産業	69,300	69,300	0	69,300	随契	4.2.16 ～ 4.3.31	4.4.28	69,300	産業廃棄物収集運搬処分	随契1号(少額)
28	貴重書庫及び収蔵庫燻蒸業務委託	イカリ消毒株式会社 静岡営業所	198,000	198,000	0	198,000	随契	4.2.18 ～ 4.3.31	4.4.28	198,000	貴重書庫及び収蔵庫燻蒸業務	随契1号(少額)
29	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託	(株)大瀧建築事務所	429,000	429,000	0	429,000	随契	4.3.16 ～ 4.3.31	4.4.28	429,000	建築基準法第12条に基づく定期点検業務	随契1号(少額)
30	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託(防火設備)	(株)弥生設備商会	92,400	92,400	0	92,400	随契	4.3.16 ～ 4.3.31	4.4.28	92,400	建築基準法第12条に基づく定期点検業務委託(防火設備)	随契1号(少額)
	小計									15,619,114		
	合計	30件								26,467,314		
参考1	静岡県立美術館及び静岡県立中央図書館における設備運転及び保守業務委託	(株)セリオ		82,467,000	0	82,467,000	一般	3.4.1 ～ 4.3.31				静岡県立美術館
参考2	静岡県立美術館園地管理業務委託	(株)小林土木緑化		15,400,000	0	15,400,000	一般	3.4.1 ～ 4.3.31				静岡県立美術館

委託料に関する調

(令和4年度)

(令和5年1月31日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 庁舎等警備業務委託	(株)全日警静岡支社	4,257,000	2,640,000	0	2,640,000	一般	2. 4. 1 ～ 7. 3. 31	4. 5. 31 4. 6. 30 4. 7. 29 4. 8. 31 4. 9. 30 4. 10. 31 4. 11. 30 4. 12. 27 5. 1. 31 小計	円 (1,056,000) 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 44,000 396,000	機械警備	R2長期
2	空調設備保守点検業務委託	(株)セリオ	2,761,000	1,540,000	0	1,540,000	一般	3. 5. 1 ～ 4. 4. 30	4. 5. 31	(1,375,000) 165,000	図書館内空調設備保守点検	R3長期
3	自動扉(ブライジング入口)保守点検業務委託	中日本オート・ドア(株)	26,400	26,400	0	26,400	随契	3. 10. 1 ～ 4. 9. 30	4. 7. 27 4. 10. 31 小計	(13,200) 6,600 6,600 13,200	ブライジング入口の自動扉保守点検 N 1台	R3長期 随契 1号 (少額)
4	自動扉(正面入口等)保守点検業務委託	ナブコシステム(株)静岡支店	66,000	66,000	0	66,000	随契	3. 7. 1 ～ 4. 6. 30	4. 7. 8	(49,500) 16,500	正面入口等自動扉保守点検 N 3台	R3長期 随契 1号
5	旧埋文消防設備保守点検業務委託	(株)弥生設備商会	95,700	95,700	0	95,700	随契	3. 10. 1 ～ 4. 9. 30	4. 10. 31	(56,100) 39,600	旧埋蔵文化財センターの消防設備保守点検	R3長期 随契 1号 (少額)
6	ボイラー設備保守点検業務委託	(株)セリオ	330,000	330,000	0	330,000	随契	3. 11. 12 ～ 4. 4. 30	4. 5. 31	(154,000) 176,000	ボイラー設備保守点検 N 2基	R3長期 随契 1号 (少額)
7	庁舎清掃及び建築物環境衛生管理業務委託	静岡ビル保善(株)	5,496,810	5,390,000	0	5,390,000	一般	4. 4. 1 ～ 5. 3. 31	4. 5. 31 4. 6. 30 4. 7. 29 4. 8. 31 4. 9. 30 4. 10. 31 4. 11. 30 4. 12. 27 5. 1. 31 小計	291,170 261,690 663,190 444,180 1,237,225 251,900 299,200 259,050 458,590 4,166,195	図書館内の日常清掃・空気環境測定 害虫駆除・水質検査 A 8,816.64㎡	R3長期 随契 1号 (少額)
8	消防用設備等保守管理業務委託	(株)弥生設備商会	605,000	495,000	0	495,000	随契	4. 4. 1 ～ 5. 3. 31	4. 7. 29 5. 1. 31 小計	275,000 220,000 495,000	消防用設備保守点検 機器点検1回 機器点検+総合点検1回	随契 1号 (少額)
9	可燃物収集運搬処分等業務委託	(株)静岡清掃企業	768,900	751,410	0	751,410	随契	4. 4. 1 ～ 5. 3. 31	4. 5. 31 4. 6. 30 4. 7. 29 4. 8. 31 4. 9. 30 4. 10. 31 4. 11. 30 4. 12. 27 5. 1. 31 小計	56,760 52,030 61,490 56,760 66,220 84,810 56,760 52,030 56,760 543,620	可燃物収集運搬 毎週月・水・金曜日 (12/29～1/3を除く) 不燃物(ビン・カン)収集運搬 年2回	随契 1号 (少額)
10	自動扉(正面入口等)保守点検業務委託	ナブコシステム(株)静岡支店	66,000	66,000	0	66,000	随契	4. 7. 1 ～ 5. 6. 30	4. 9. 30 4. 12. 27 小計	16,500 16,500 33,000	正面入口等自動扉保守点検 N 3台	R4長期 随契 1号 (少額)
11	自家用電気工作物保安管理業務委託	(一財)中部電気保安協会清水営業所	476,520	476,520	0	476,520	随契	4. 4. 1 ～ 5. 3. 31	4. 5. 31	476,520	電気工作物保安管理 月次点検年5回 年次点検年1回	随契 1号 (少額)
12	エレベーター保守点検業務委託	(株)日立ビルシステム中部支社	818,400	818,400	0	818,400	随契	4. 4. 1 ～ 5. 3. 31	4. 7. 29 4. 10. 31 5. 1. 31 小計	204,600 204,600 204,600 613,800	エレベーター保守管理 N 2基	随契 1号 (少額)
	小計									7,134,435		

整理 番号	委 託 業務名	受託者	当 初 設計金額	契約金額			契約 締結 方法	契約 期間	支 出 年月日	金 額	委託業務 の内容	摘要
				当初額	変 更 増減額	計						
13	空調設備保 守点検業務 委託	菱和設備 (株)	2,761,000	1,760,000	0	1,760,000	一般	4.5.1 ～ 5.4.30	4.7.29 4.7.29 4.8.31 4.9.30 4.11.30 4.11.30 4.12.27 4.1.31	466,400 26,950 26,950 264,220 26,950 260,040 338,030 26,950	図書館内空調設備保守点 検	R4長期
									小計	1,436,490		
14	(事務関係) 自動扉(プ ラウジグ入 口)保守点 検業務委託	中日本オー ト・ドア (株)	円 26,400	円 26,400	円 0	円 26,400	随契	4.10.1 ～ 5.9.30		円	ブラウジング入口の自動 扉保守点検 N1台	R4長期 随契 1号 (少額)
15	旧埋文消防 設備保守点 検業務委託	(株)弥生設 備商会	95,700	95,700	0	95,700	随契	4.10.1 ～ 5.9.30			旧埋蔵文化財センターの 消防設備保守点検	R4長期 随契 1号 (少額)
17	貴重書庫及 び収蔵庫燻 蒸業務委託	イカリ消毒 (株)静岡営 業所	231,000	198,000	0	198,000	随契	4.11.4 ～ 4.12.28			貴重書庫及び収蔵庫の燻 蒸 A336.09㎡	随契 1号 (少額)
18	ボイラー設 備保守点検 業務委託	(株)セリオ	352,000	352,000	0	352,000	随契	4.11.4 ～ 5.4.30			ボイラー設備保守点検 N2基	R4長期 随契 1号 (少額)
19	デジタル化 事業業務委 託	(株)工業複 写センター	画像スキャン 77円/ショット ファイル変換費 27.5円/ショット 画像接合費 275円/件 フィルム撮影 110円/コマ データ作成 22円/件 媒体費用 110,000円	画像スキャン 74円/ショット ファイル変換費 27.5円/ショット 画像接合費 275円/件 フィルム撮影 104.5円/コマ データ作成 19.8円/件 媒体費用 110,000円	0	画像スキャン 74円/ショット ファイル変換費 27.5円/ショット 画像接合費 275円/件 フィルム撮影 104.5円/コマ データ作成 19.8円/件 媒体費用 110,000円	一般	5.1.13 ～ 5.3.31			地域資料のデジタル画像 作成	単価契 約
20	デジタルラ イブラリー データ一括 登録作業業 務	NECソ リューション インノベー タ(株)	1,518,000	1,518,000	0	1,518,000	随契	4.8.1 ～ 4.11.18	4.10.31	1,518,000	デジタル化した地域資料 のデジタルライブラリー システムへの一括登録	随契 2号 (不適)
21	NDLサーチ 向けOAI-P MH対応業 務委託	NECソ リューション インノベー タ(株)	462,000	462,000	0	462,000	随契	5.2.15 ～ 5.3.30			NDLサーチ向けOAI -PMH対応業務委託	随契 1号 (少額)
22	建築基準法 第12条に基 づく定期点 検業務委託	(株)大瀧建 築事務所	165,000	165,000	0	165,000	随契	5.3.6 ～ 5.3.31			建築基準法第12条にかか る定期点検	随契 1号 (少額)
23	防火設備定 期点検業務 委託	(株)弥生設 備商会	92,400	92,400	0	92,400	随契	5.3.6 ～ 5.3.31			建築基準法第12条にかか る防火設備定期点検	随契 1号 (少額)
24	建築基準法 第12条に基 づく外壁全 面打診調査 業務委託	(株)平柳建 築設計事務 所	3,902,800	1,252,900	0	1,252,900	一般	5.2.8 ～ 5.3.31			建築基準法第12条に基 づく外壁全面打診業務	
	小 計									2,954,490		
	合 計	24件								10,088,925		
参考 1	静岡県立美術館及び静 岡県立中央図書館にお ける設備運転及び庁舎 等整備業務委託	(株)セリオ		107,910,000	0	107,910,000	一般	4.4.1 ～ 5.3.31			静岡県立美術館	
参考 2	静岡県立美 術館園地管 理業務委託	株式会社静 岡緑地建設		18,700,000	0	18,700,000	一般	4.4.1 ～ 5.3.31			静岡県立美術館	

負担金支出調

(令和3年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担 根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	日本図書館協会会費	(公社)日本図書館協会	定款	全国図書館の調査研究、職員教育と各機関の情報交換	円 50,000	3. 4. 30
2	静岡県図書館協会会費	静岡県図書館協会	会則	県内図書館事業の研究、職員研修と各機関の情報交換	200,000	3. 6. 14
3	全国公共図書館協議会分担金	全国公共図書館協議会	規約	全国公共図書館の相互連絡及び調査研究、情報交換	36,000	3. 7. 26
4	日本図書館協会資料交換センター負担金	(公社)日本図書館協会	要項	公共図書館発行資料の相互提供による情報交換	35,000	3. 8. 13
5	全国図書館大会山梨大会受講料	全国図書館大会山梨大会実行委員会	要項	各種図書館事業の課題研究と情報交換	16,000	3.10. 20
6	水道施設管理業務負担金	静岡県公立大学法人	覚書	水道施設の維持管理	53,680	4. 4. 22
	計	6件	/	/	390,680	/

負担金支出調

(令和4年度)

(令和5年1月31日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担 根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	日本図書館協会会費	(公社)日本図書館協会	定款	全国図書館の調査研究、職員教育と各機関の情報交換	円 50,000	4. 4. 28
2	静岡県図書館協会会費	静岡県図書館協会	会則	県内図書館事業の研究、職員研修と各機関の情報交換	200,000	4. 6. 30
3	中堅職員ステップアップ研修(2)受講料	(公社)日本図書館協会	要項	高度かつ専門的な図書館の知識や技術の向上を図る	84,000	4. 6. 10
4	全国公共図書館協議会分担金	全国公共図書館協議会	規約	全国公共図書館の相互連絡及び調査研究、情報交換	36,000	4. 7. 28
5	関東地区公共図書館協議会事業負担金	関東地区公共図書館協議会	規約	関東地区図書館事業の研究、職員研修と情報交換	34,000	4. 8. 2
6	日本図書館協会資料交換センター負担金	(公社)日本図書館協会	要項	公共図書館発行資料の相互提供による情報交換	35,000	4. 8. 12
7	中堅職員ステップアップ研修(1)受講料	(公社)日本図書館協会	要項	高度かつ専門的な図書館の知識や技術の向上を図る	20,000	4. 9. 13
8	全国図書館大会群馬大会参加費	全国図書館大会群馬大会実行委員会	要項	各種図書館事業の課題研究と情報交換	12,000	4. 9. 13
	計	8件	/	/	471,000	/

建 築 工

整理 番号	予算科目	工事名	工事箇所	当 初 設計金額	契 約 金	
					当初額	変更増減額
1	デジタル 戦略費	静岡県立中央図 書館電気通信設 置工事	静岡市駿河 区谷田地内	円 440,000	円 440,000	円 0
		合 計	1 件	440,000	440,000	0

事 調

(令和4年度)

(令和5年1月31日現在)

額	契約 締結 方法	受注者	着 手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工事概要	公有 財産 台帳	摘 要
計							
円 440,000	随契	株式会社 シズデン	R4.11.1 ～ R5.1.31	円 0	中央図書館各フロ アへアクセスポイ ント設置	—	令 達 年 月 日 令和4年4月21日 令和4年8月18日 随 契 1 号 (少 額)
440,000				0			

公 有 財 産 調

(令和3年度)

区分	令和3年3月31日 現 在		増		減		令和4年3月31日 現 在		摘要
	数量又は面積	台帳 価 格	数量又は面積	台帳 価 格	数量又は面積	台帳 価 格	数量又は面積	台帳 価 格	
行政財産	千円	17,559,091	千円		千円		千円	17,550,582	
土地	m ² 143,583.14	17,328,434					m ² 143,583.14	17,328,434	
立木竹	本 5,621	177,210			5	155	本 5,616	177,055	
建物	m ² $\frac{4,871.26}{11,583.21}$	15,329				1,108	m ² $\frac{4,871.26}{11,583.21}$	14,221	
工作物	個 93	38,118	1	0	1	7,246	個 93	30,872	
特許権等	個 2	0					個 2	0	
公有財産に 準ずるもの		239						239	
電 話 加入権	件 7	239					件 7	239	

公 有 財 産 調

(令和4年度)

(令和5年1月31日現在)

区分	令和4年3月31日 現 在		増		減		令和5年1月31日 現 在		摘 要
	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	数量又 は面積	台 帳 価 格	
行政財産	/	千円 17,550,582	/	千円	/	千円	/	千円 17,550,551	
土地	m ² 143,583.14	17,328,434					m ² 143,583.14	17,328,434	
立木竹	本 5,616	177,055			1	31	本 5,615	177,024	
建物	m ² <u>4,871.26</u> 11,583.21	14,221					m ² <u>4,871.26</u> 11,583.21	14,221	
工作物	個 93	30,872					個 93	30,872	
特許権 等	個 2	0					個 2	0	
公有財産に 準ずるもの	/	239	/		/		/	239	
電 話 加入権	件 7	239					件 7	239	

借地借家等調

(令和5年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契 約 期 間	所有者又 は契約者 氏 名	用 途
				台 帳	現 況		単 価	年 額			
1	土地	敷地	清水区 草 薙 1-17-4	—	—	0.81 m ²	円 無償	円 無償	25.4.1 ～ 35.3.31	静岡市長	図書館 案内看板 設置
2	建物	事務所建	葵 区 追手町 229-16	S R C	地上11階 地下1階	315.46 m ²		無償	4.4.1 ～ 5.3.31	資産経営 課長	歴史文化 情報セン ター設置
3	建物	事務所建	駿河区 東静岡 2-3-1	S R C	地上12階 地下3階	0.40 m ²		無償	3.4.1 ～ 6.3.31	文化政策 課長	図書返却 ボックス 設置
4	土地	敷地	葵 区 追手町 4-16	—	—	1.80 m ²		無償	4.7.23 ～ 5.3.31	静岡市長	葵文庫跡 記念碑 設置
5	—	—	駿河区 谷田 1719 地先	—	—	3.45m		無償	31.4.1 ～ 11.3.31	静岡県知事	排水施設 設置
	計							0			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和4年度)
(令和5年1月31日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
				円	円	円	円	円	円
債務負担行為	総合電算管理システム賃貸借契約	館内書誌データ管理、窓口業務、図書館間相互貸借処理、HP運営用システム賃貸借(契約日) 1.10.28	90,248,400	-	27,575,900	30,082,800	30,082,800	2,506,900	-
	総合電算管理システム機器賃貸借契約	パソコン、プリンタ等賃貸借(契約日) 2.1.20	40,392,000	-	12,342,000	13,464,000	13,464,000	1,122,000	-
長期継続契約	庁舎等警備業務委託	図書館機械警備(契約日) 2.4.1	2,640,000	-	528,000	528,000	528,000	528,000	528,000
	電子複写機賃貸借及び使用契約	電子複写機1台(契約日) 1.10.1	844,800	84,480	168,960	168,960	168,960	168,960	84,480
	印刷機賃貸借契約(中央図書館事務室)	電子複写機1台(契約日) 2.4.1	3,329,370	-	677,160	677,160	677,160	677,160	620,730
	空調設備保守点検業務委託	図書館空調設備保守(契約日) 3.4.30	1,540,000	-	-	1,375,000	165,000	-	-
	自動扉(正面入口等)保守点検業務委託	自動扉3基保守点検(契約日) 3.6.29	66,000	-	-	49,500	16,500	-	-
	自動扉(ブラウジング入口)保守点検業務委託	自動扉1基保守点検(契約日) 3.9.29	26,400	-	-	13,200	13,200	-	-
	旧埋文消防設備保守点検業務委託	消防設備保守点検(契約日) 3.9.29	95,700	-	-	56,100	39,600	-	-
	ボイラー設備保守点検業務委託	ボイラー保守点検(契約日) 3.11.12	330,000	-	-	154,000	176,000	-	-
	空調設備保守点検業務委託	図書館空調設備保守(契約日) 4.4.28	1,760,000	-	-	-	1,626,240	133,760	-
	自動扉(正面入口等)保守点検業務委託	自動扉3基保守点検(契約日) 4.6.30	66,000	-	-	-	49,500	16,500	-
	自動扉(ブラウジング入口)保守点検業務委託	自動扉1基保守点検(契約日) 4.9.30	26,400	-	-	-	13,200	13,200	-
	旧埋文消防設備保守点検業務委託	消防設備保守点検(契約日) 4.9.30	95,700	-	-	-	56,100	39,600	-
ボイラー設備保守点検業務委託	ボイラー保守点検(契約日) 4.11.4	352,000	-	-	-	165,000	187,000	-	

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期 間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	建物	事務 所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上3階 地下1階	2.00 m ²		円 5,740	4.4.1 ～ 5.3.31	(一社)静岡県肢 体不自由児者父 母の会連合会長	飲料水自動 販売機設置
2	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	325m		29,250	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡ガス株導管ネットワ ーク事業部静岡導管ネッ トワークセンター長	都市ガス供給
3	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	1.07 m ²		免除	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡市駿河区 谷田自治会長	防犯灯設置
4	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	電柱4本 支線6条	1,500	15,000	2.4.1 ～ 7.3.31	中部電力パワー グリッド(株) 静岡支社清水営 業所長	電力供給
5	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	1.00 m ²		2,690	4.4.1 ～ 6.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	公衆電話室 用地
6	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	1.00 m ²		免除	3.4.1 ～ 6.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	公衆電話室 用地
7	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	電柱15本 支線12条 支線柱1本 支柱3本	1,500	46,500	2.4.1 ～ 7.3.31	西日本電信電話(株) 静岡支店長	電気通信 線路設備
8	建物	事務 所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上3階 地下1階	1.64 m ²		4,710	4.4.1 ～ 5.3.31	(株)NTTドコモ 執行役員 東海支社長	屋内用携帯電 話基地局設置
9	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	0.30 m ²		800	4.4.1 ～ 5.3.31	日本郵便(株) 静岡南郵便局長	郵便差出箱 設置
10	建物	事務 所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上 3階 地下 1階	0.91 m ²		2,610	4.4.1 ～ 5.3.31	静岡県読書推進 運動協議会長	資料の 複写サービス

行政財産貸付・使用許可調

(令和5年1月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量又 は面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は使用 許可を受けた 者の氏名	貸付・ 使用許 可目的
				台帳	現況		単価	年額			
11	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	道路	430.39 m ²		免除	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡市長	道路
12	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	15.93 m ²		免除	2.4.1 ～ 7.3.31	静岡市長	防災倉庫設置
13	建物	事務 所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上3階 地下1階	3.30 m ²		免除	3.4.1 ～ 6.3.31	静岡県 図書館協会 会長	事務職員用 机・椅子設置
14	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	1,530.68 m ²		免除	3.4.1 ～ 8.3.31	静岡市長	道路 (谷田1号線)
15	土地	敷地	静岡市 駿河区 谷田 53-1	畑	学校 用地	2.06 m ²		免除	4.4.1 ～ 5.3.31	しずてつ ジャストライン(株) 取締役社長	バス停留所標 識・案内板・ ベンチ設置
16	建物	事務 所建	静岡市 駿河区 谷田 53-1	RC	地上3階 地下1階	1.56 m ²		4,480	4.4.1 ～ 5.3.31	ソフトバンク(株) 東海ネットワーク 技術部長	屋内用携帯電 話基地局設置
合 計								111,780			

備品・図書調

(令和 3年度)

区分	令和 3年 3月31日 現在	増		減		令和 4年 3月31日 現在
		数量	購入 価格 (円)	数量	売却 価格 (円)	
01-01 机類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-02 台類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-03 いす類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	142	(0) 0	0	(0) 0	0	142
01-05 印刷機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	8	(0) 0	0	(0) 0	0	8
02-01 情報処理機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
02-02 情報伝達機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
02-03 再生機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
09-01 標本美術品	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
50-01 図書	900,530	(466) 16,201	41,636,392	(15) 25	0	916,706
計	900,740	(466) 16,201	41,636,392	(15) 25	0	916,916

備品・図書調

(令和 4年度)

区分	令和 4年 3月31日 現在	増		減		令和 5年 1月31日 現在
		数量	購入 価格 (円)	数量	売却 価格 (円)	
01-01 机類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-02 台類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-03 いす類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
01-04 収納保管庫類	142	(0) 0	0	(0) 0	0	142
01-05 印刷機器類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
01-07 書類整理器具類	4	(0) 0	0	(0) 0	0	4
01-10 印判類	5	(0) 0	0	(0) 0	0	5
01-99 その他の庁用器具類	8	(0) 1	138,930	(0) 0	0	9
02-01 情報処理機器類	17	(0) 0	0	(0) 0	0	17
02-02 情報伝達機器類	2	(0) 0	0	(0) 0	0	2
02-03 再生機器類	6	(0) 0	0	(0) 0	0	6
03-01 撮影機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
03-03 視覚用再生等機器類	7	(0) 0	0	(0) 0	0	7
03-04 媒体関連機器類	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
08-01 車両類	3	(0) 0	0	(0) 0	0	3
09-01 標本美術品	1	(0) 0	0	(0) 0	0	1
50-01 図書	916,706	(352) 9,996	27,961,563	(0) 19	0	926,683
計	916,916	(352) 9,997	28,100,493	(0) 19	0	926,894

主 要 備 品 調

(令和5年1月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	1-4	移動書庫	移動書庫 5連6段 複式移動10	毎日(年間365日) 書庫10	平成28年2月	3,345,840
2	1-4	移動書庫	移動書庫 6連6段 複式移動8	毎日(年間365日) 書庫11	平成28年2月	3,294,000
3	2-1	その他の情報処理機器	その他の情報処理機器	毎日(年間308日) 来館者体温測定	令和2年5月	2,581,700
4	1-5	印刷機	デジタル印刷機 リソグラフ RZ770	毎日(年間365日) 資料印刷	平成18年10月	976,500
5	50-1	第1種図書	新訂増補 国史大系 全66巻	毎日(年間365日) (歴史文化情報センター)	昭和60年12月	850,000
6	1-4	移動書庫	移動書庫 オカムラ N957AS Z13	毎日(年間365日) 書庫10	平成10年3月	829,500
7	1-5	印刷機	デジタル印刷機 リソグラフ RZ630	毎日(年間365日) 資料印刷	平成20年3月	756,000
8	1-7	製本機	製本機 丁合機 理想化学 C-33	毎日(年間365日) 資料製本	平成10年3月	731,850
9	1-4	その他の収納保管庫	ブックポスト キハラ ステンレス製	毎日(年間365日) 図書返却用	平成6年12月	618,000
10	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
11	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
12	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
13	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
14	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
15	1-4	書類収納庫	書類収納庫 複式書棚 オカムラ5連7段	毎日(年間365日) 書庫8	平成8年3月	601,950
16	2-3	その他の再生機器	ディスプレイ 65型	月20回(年間240日) 展示・イベント内容の提供	平成24年3月	563,829
17	3-3	その他の映写機	プロジェクター LVP-X70	年10回 各種図書館講座に使用	平成12年3月	535,500
18	2-2	ファクシミリ	ファクシミリ デジタル複合機	毎日(年間365日) 資料転送	平成19年3月	509,850
19	3-3	その他の映写機	16ミリフィルム映写機 北辰 X-310	年1回 図書館イベントで使用	昭和60年6月	476,000
20	3-3	その他の映写機	16ミリフィルム映写機 北辰 X-360	年1回 図書館イベントで使用	平成元年5月	432,600